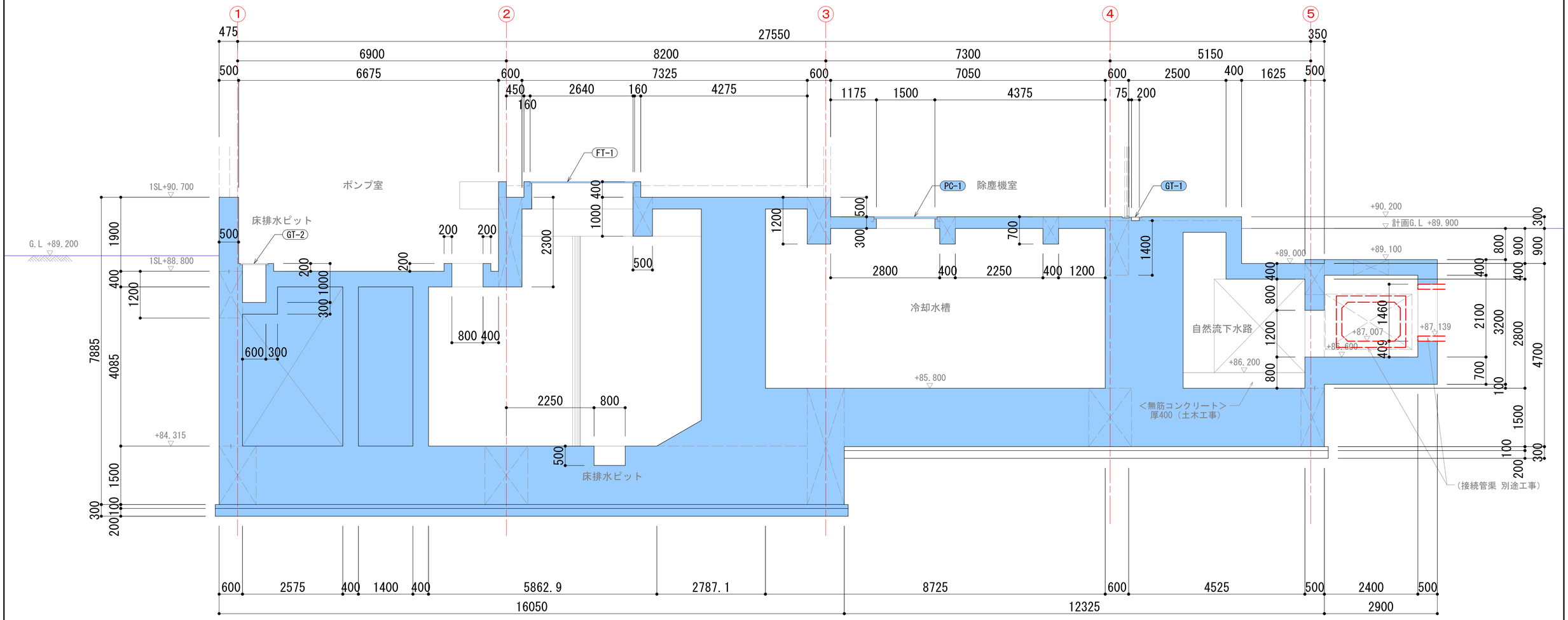
断面詳細図（２） S=1:50

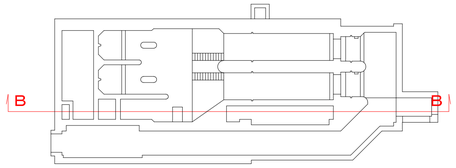
Ｂ－Ｂ断面



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

凡例	
	土木工事躯体面を示す。

仕上凡例	
符　号	名　　称
FT-	合成木材製蓋（単板蓋タイプ）
TA-	足掛金物　W=400 ポリプロピレン防錆被覆
MH-1	鋼製マンホール蓋600φ
GT-1	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋及び受枠 W=200 歩行用
GT-2	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋及び受枠 H=25　枠のみ土木 蓋は機械



キープラン

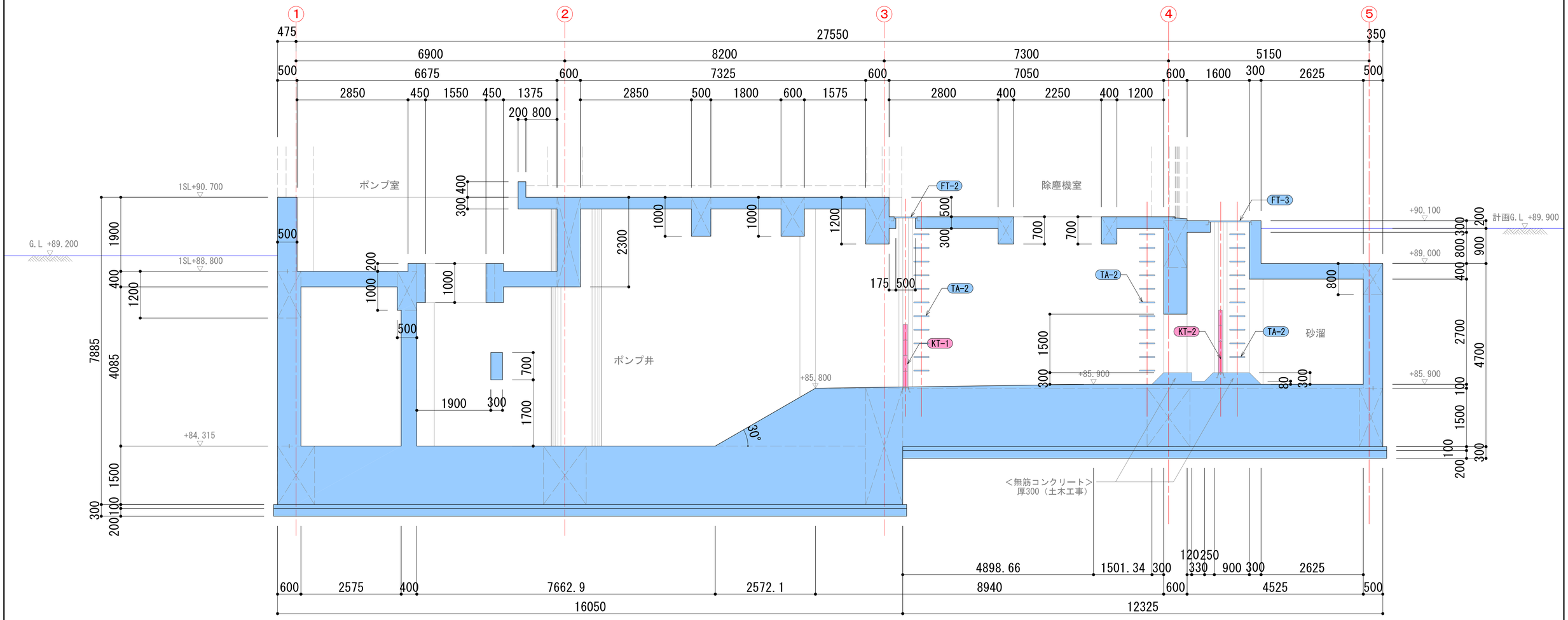
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	断面詳細図（２）		
縮尺	1:50	図面番号	D-26

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

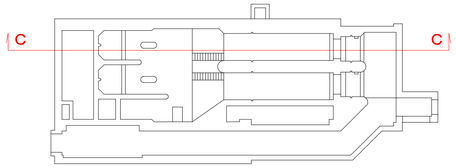
断面詳細図（３） S=1:50

Ｃ－Ｃ断面



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

凡例	
	土木工事躯体面を示す。



キープラン

仕上凡例	
符　号	名　　称
FT-	合成木材製蓋（単板蓋タイプ）
KT-1	合成木材製角落し及び受枠（呼称100）
KT-2	合成木材製角落し及び受枠（呼称120）
TA-	足掛金物　W=400 ポリプロピレン防錆被覆

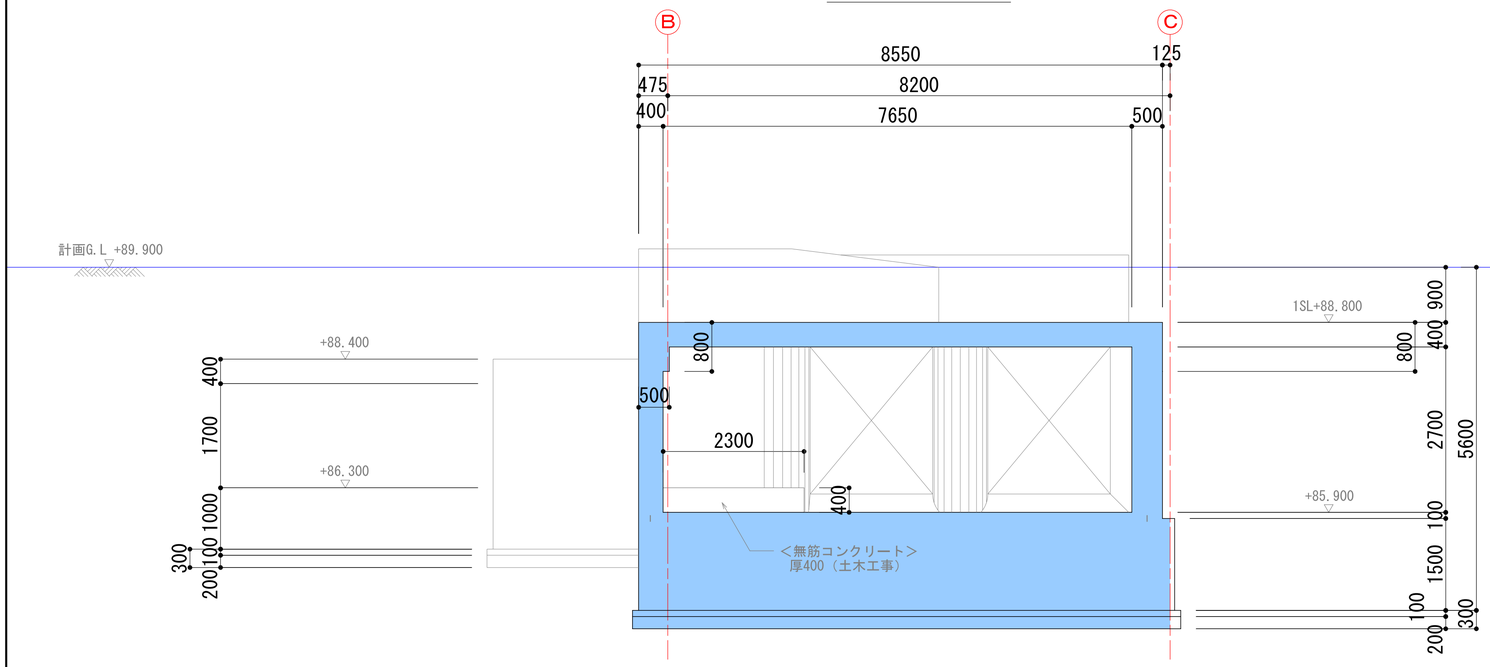
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	断面詳細図（３）		
縮尺	1:50	図面番号	D-27

課長　係長　審査　調査　設計　測量

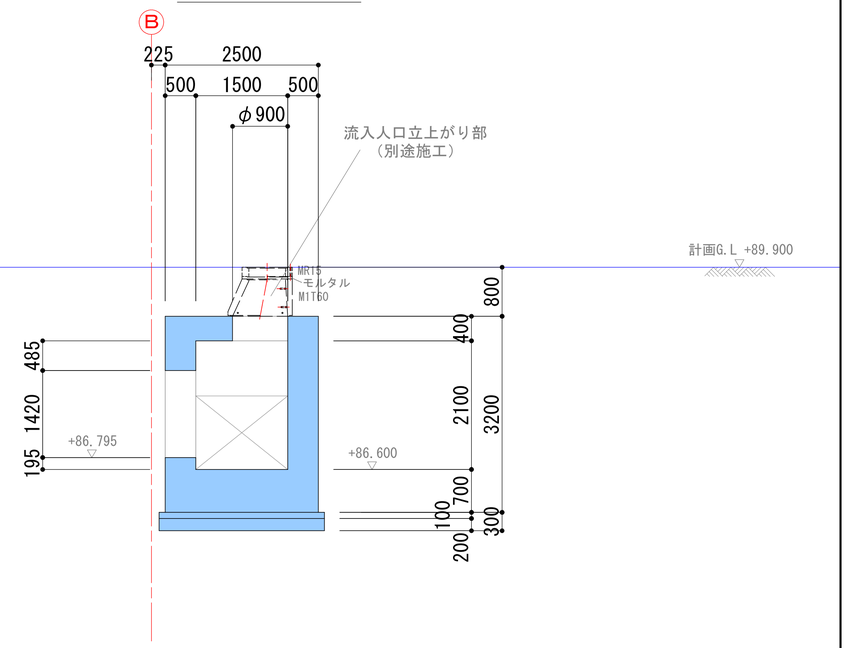
魚沼市産業経済部建設課

断面詳細図（４） S=1:50

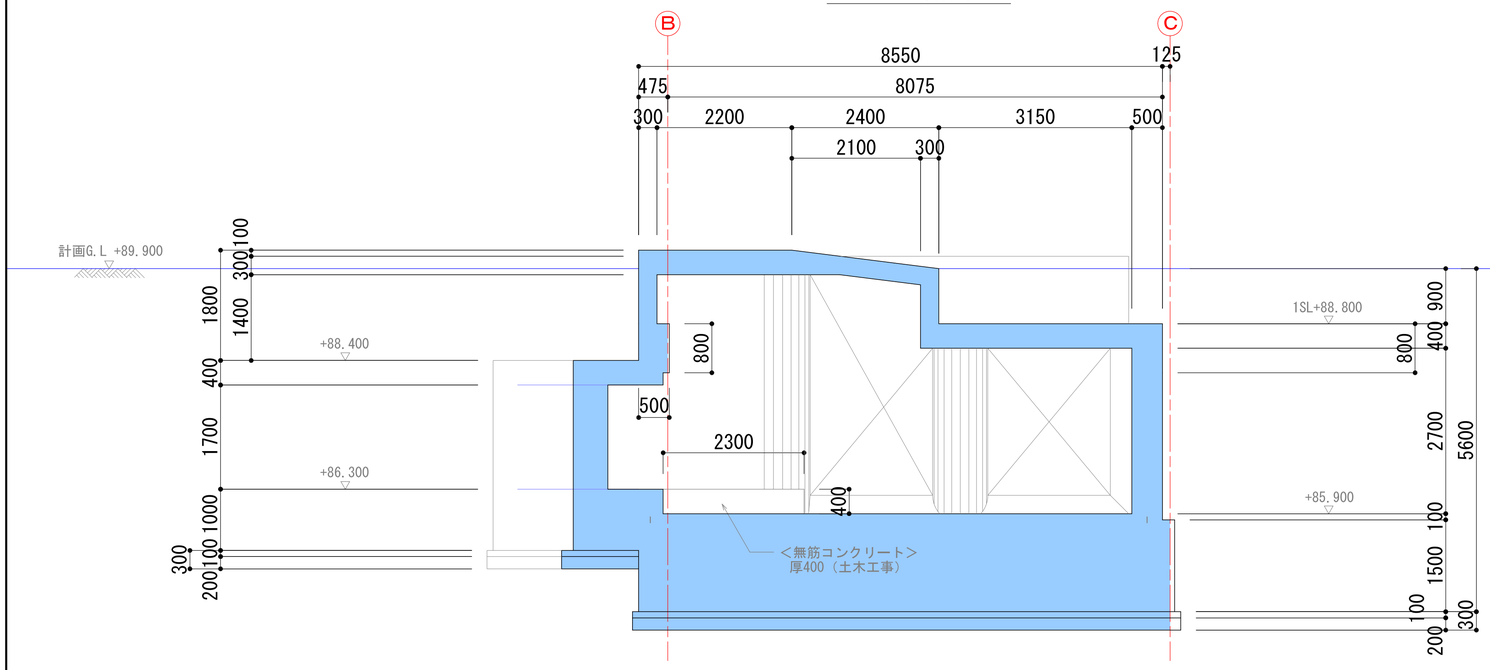
４－４断面

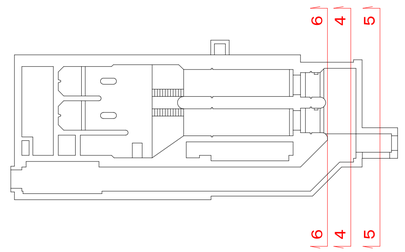


５－５断面



６－６断面





キープラン

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

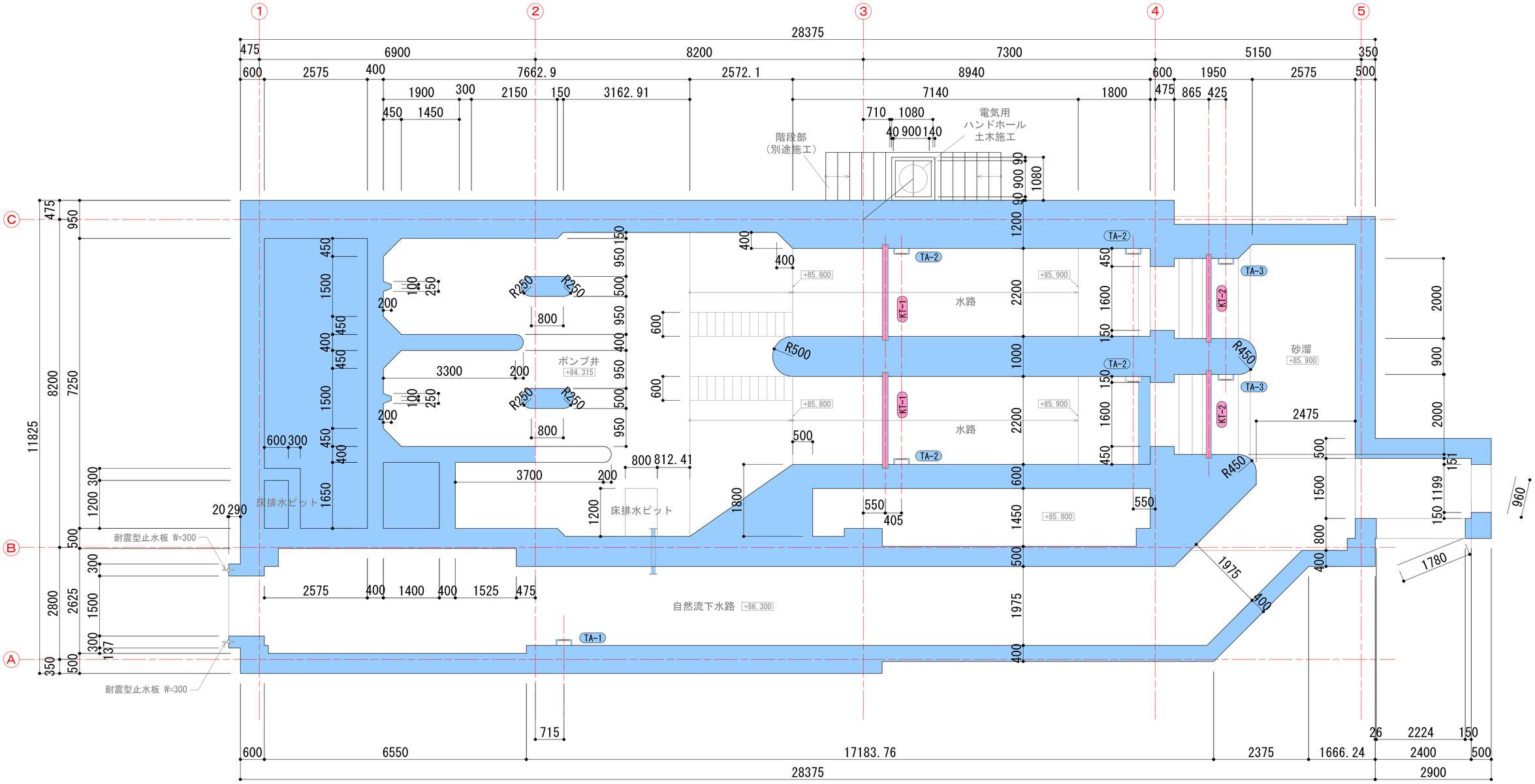
凡例	
	土木工事躯体面を示す。

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	断面詳細図（４）		
縮尺	1:50	図面番号	D-28

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

ポンプ井平面詳細図　S=1:50



凡　例			工事区分	
符　号	名　称	備　考	建築	土木
KT-1	合成木材製角落し及び受枠（呼称100）	タイプA	※	○
KT-2	合成木材製角落し及び受枠（呼称120）	タイプB	※	○
TA-	足掛金物　W=400 ポリプロピレン防錆被覆			○
	躯体工事は土木工事とする			○

※合成木材製角落しの材料支給は建築工事による

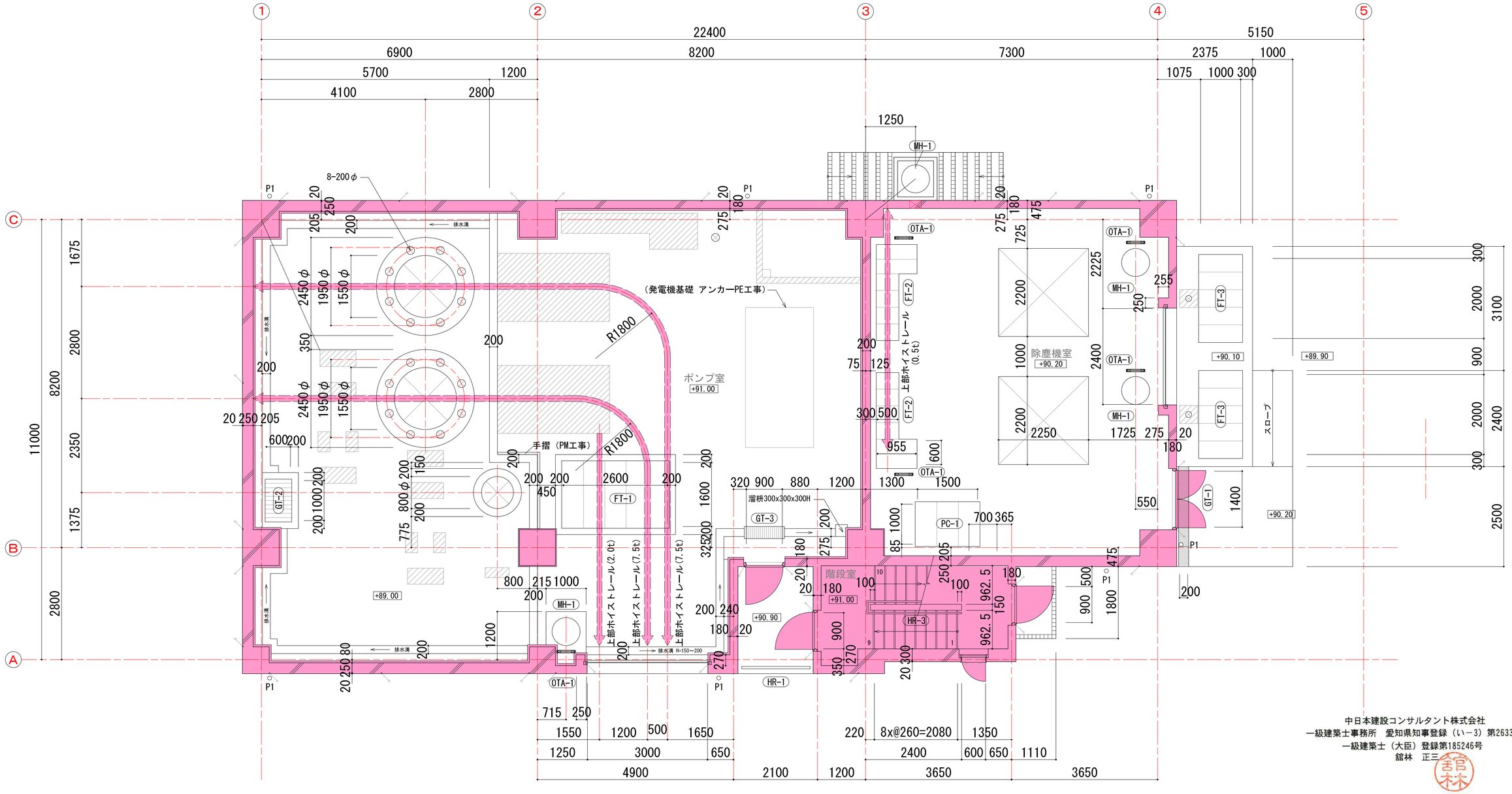
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	ポンプ井平面詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	D-29

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

１階平面詳細図　S=1:50



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

凡　例			工事区分		
符　号	名　称	備　考	建築	土木	機械
FT-	合成木材製蓋（単板蓋タイプ）			○	
GT-1	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋及び受枠 W=200 歩行用	鋼製		○	
GT-2	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋及び受枠 H=25	枠のみ土木蓋は機械		○	
GT-3	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋及び受枠 W=200 歩行用	鋼製			○
PC-1	コンクリート製蓋			○	
HR-1	アルミ製手摺（固定式）H=1100			○	

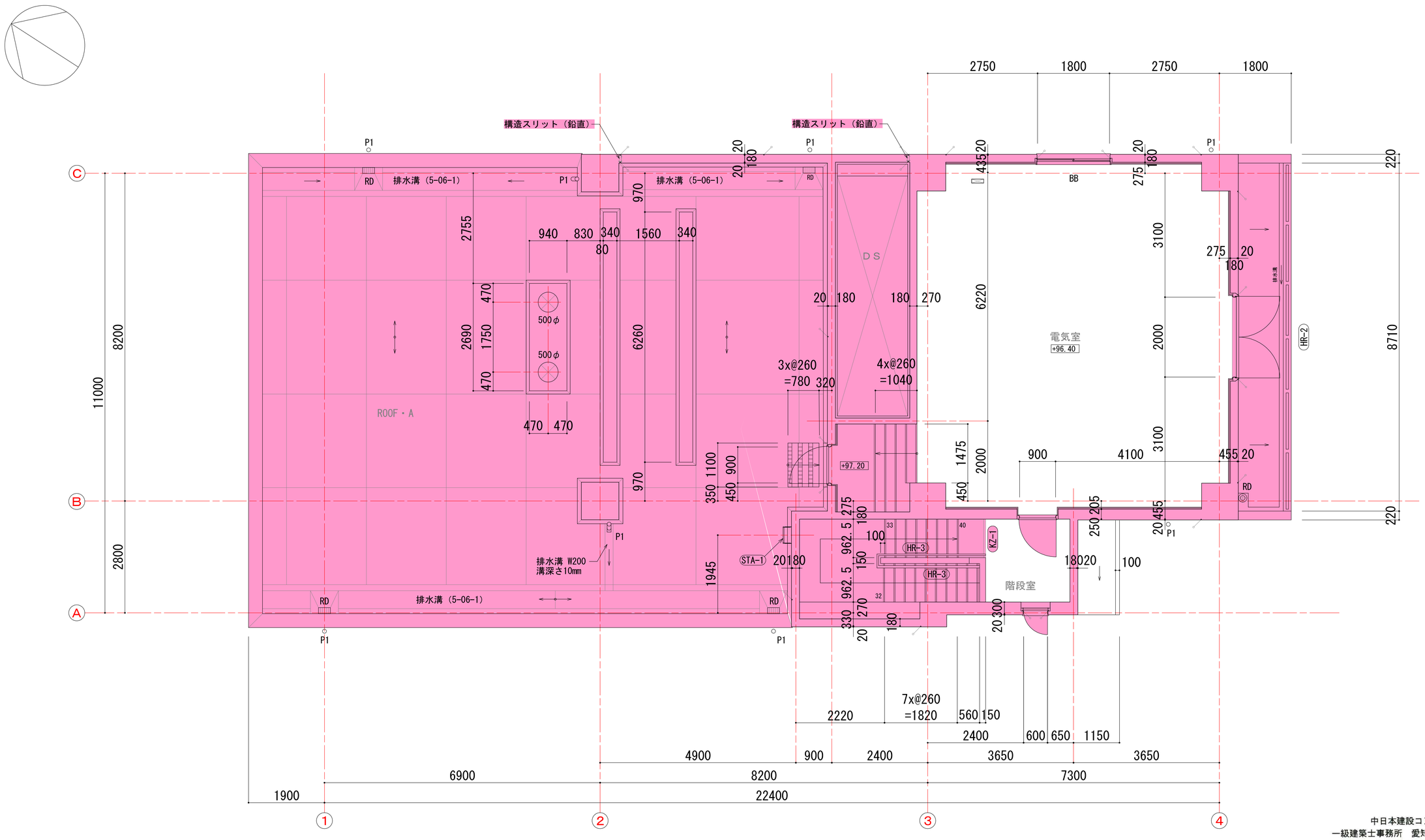
凡　例			工事区分	
符　号	名　称	備　考	建築	土木
HR-3	壁付き手摺（ステンレス製）		○	
MH-1	鋼製マンホール蓋600φ			○
OTA-1	落し込み取手			○
○-P1	たてどい　125A　ステンレス製		○	

凡　例			工事区分	
符　号	名　称	備　考	建築	土木
	床開口を示す。			○
	床無筋コンクリートを示す。	（別途PM工事）		
排水溝	排水溝内はモルタル厚30～150で勾配を付ける。（建築工事）		○	
	プラント機械工事用基礎を示す。（別途工事） 機械基礎の挿筋は土木工事とする。（特記B-4参照） 位置、大きさは機械基礎平面図参照。			

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	１階平面詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	D-30

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課



２階平面詳細図　1:50

凡　例		
符　号	名　称	備　考
HR-2	アルミ製手摺（取外し式）H=1100	
HR-3	壁付き手摺（ステンレス製）	
STA-1	ステンレスタラップ	
KZ-1	ステンレスくつずり	
P1	たてどい　125A　ステンレス製	
BB	ブラインド及びラインドボックス	
RD	ルーフドレン　125φ　ステンレス製	
	床開口を示す。	

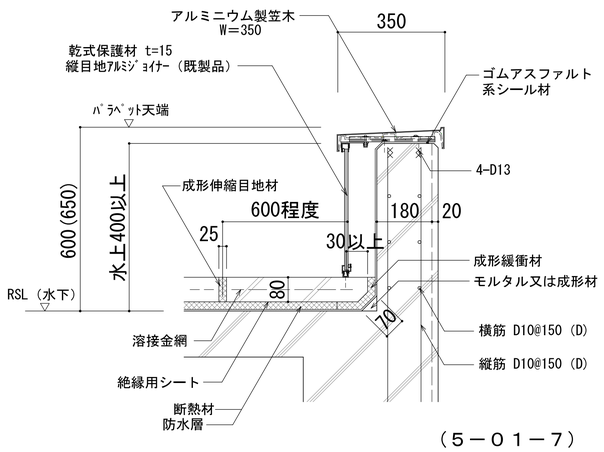
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	２階平面詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	D-31

課長　係長　審査　調査　設計　測量

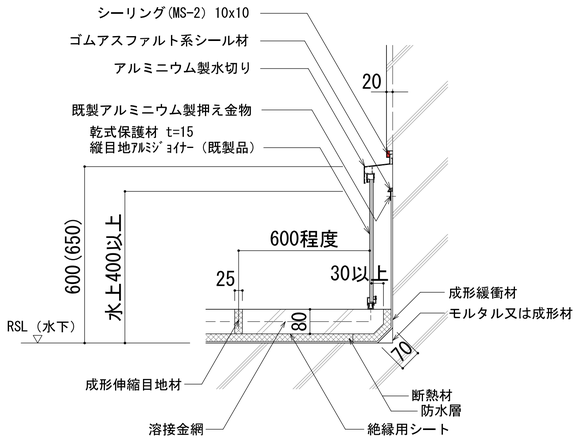
魚沼市産業経済部建設課

D－１　屋上パラペット詳細図　1/10



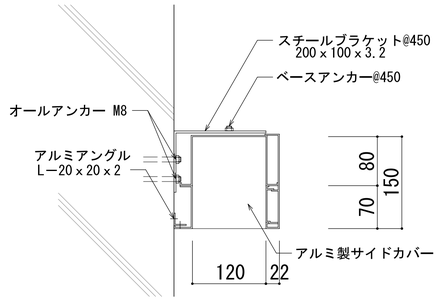
（５－０１－７）

D－２　屋上パラペット壁取合い詳細図　1/10



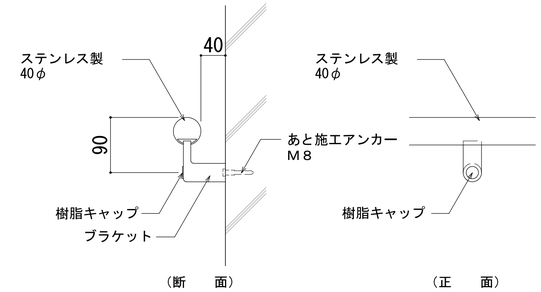
（５－０１－６）

D－３　ブラインドボックス詳細図　1/5



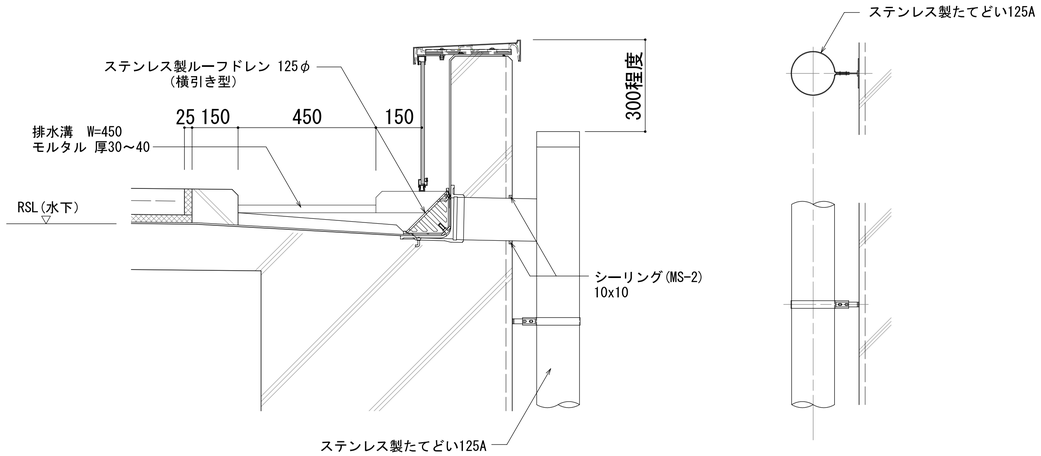
【 仕様 】
1）　材質：アルミ製押出し型材　表面処理：Ｂ－１種
2）　ビス：ＳＵＳ３０４　リベット：アルミ製
3）　ブラケット：亜鉛メッキ仕上
4）　ブラインド：横型アルミ製ブラインド

D－４　壁付手すり詳細図 HR-3　1/5

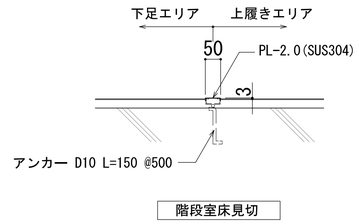


取付場所	形状	延長	備考
階段室	斜め部		
	水平部		

D－５　屋上ルーフドレン及びたてどい廻り詳細図　1/10

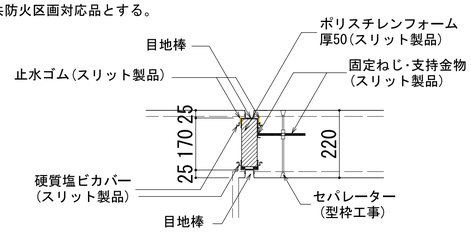


D－６　上がりかまち・床見切詳細図　1/10

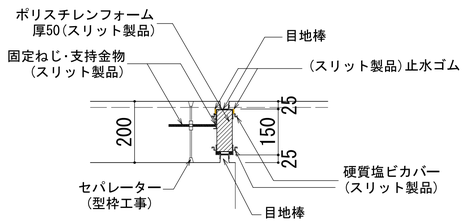


D－７　構造スリット参考詳細図　1/5

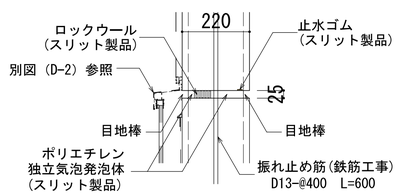
垂直・水平共防火区画対応品とする。



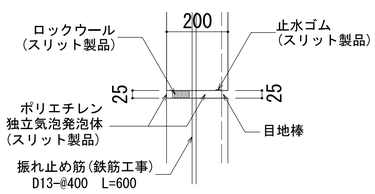
（２通り側垂直スリット W=25）



（３通り側垂直スリット W=25）



（水平スリット W=25）



（水平スリット W=25）

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（１）		
縮尺		図面番号	D-32

課長　係長　審査　調査　設計　測量

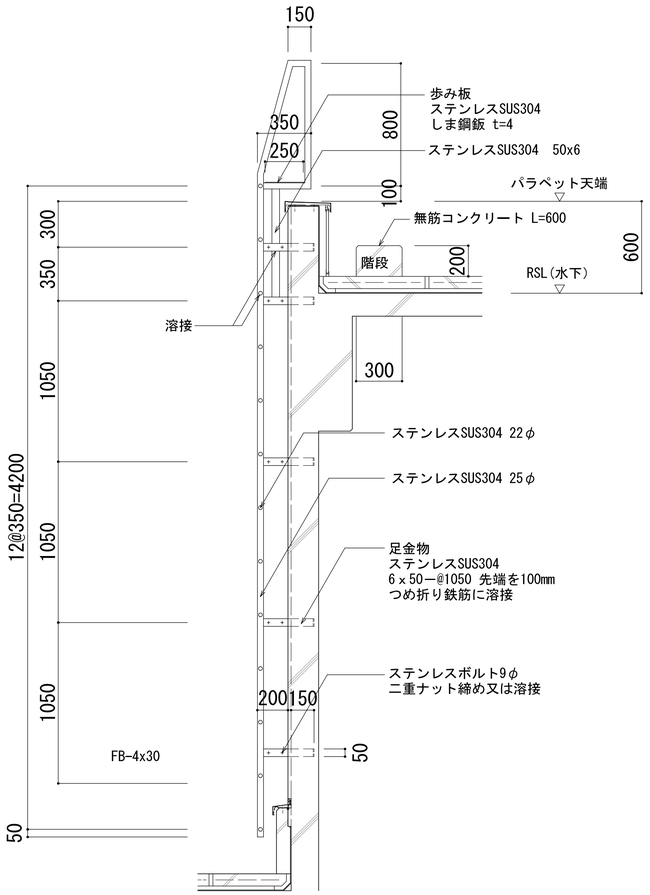
魚沼市産業経済部建設課

Ｄ－８	ステンレス製タラップ詳細図（8-31-2）	1/20

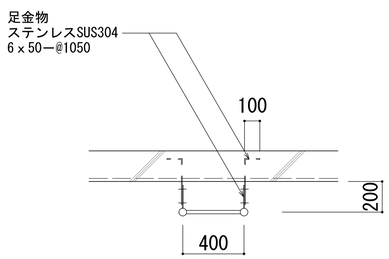
注記

１） 直登延長が７ｍを超えた場合に３ｍ以上の部分に、安全ガードは設ける。

２） ステンレス丸鋼と平鋼の取合いは全周すみ肉溶接とする。



（断面図）



（平面図）

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（２）		
縮尺		図面番号	D-33

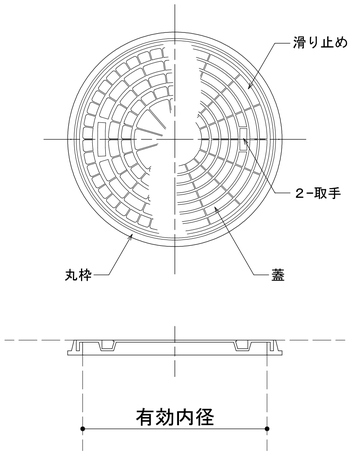
課長	係長	審査	調査	設計	測量

魚沼市産業経済部建設課

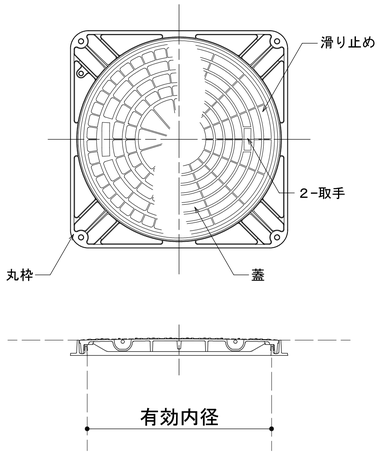
Ｄ－９　マンホール蓋（簡易防水、簡易防臭用）詳細図

1/10

（丸枠タイプ）



（角枠タイプ）



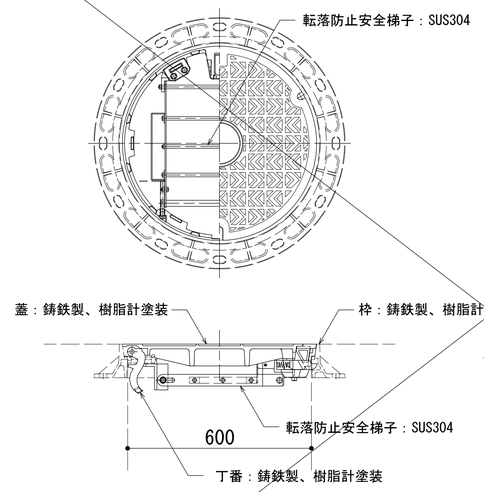
ＦＲＰ製及び鋼製マンホール蓋　型式選定表(参考)

寸法呼称	有効内径(mm)	安全荷重種別呼称	安全荷重(kN)	個　数
300型	300	500ｋ	5.0	―
		1500ｋ	15.0	―
600型	600	500ｋ	5.0	―
		1500ｋ	15.0	―
700型	700	1500ｋ	15.0	―
900型	900	1500ｋ	15.0	―

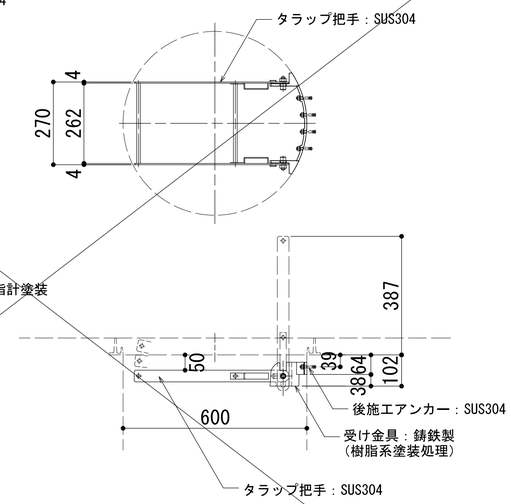
注)寸法呼称および安全荷重はSHASE-S209(空気調和・衛生工学会規格)に準拠する。

特記事項
1）蓋の型式：簡易防水型、簡易防臭型
2）有効内径：φ600
3）蓋のロック機能の有無：ロックなし

（転落防止梯子付き丸枠タイプ）



（梯子付き丸枠タイプ）

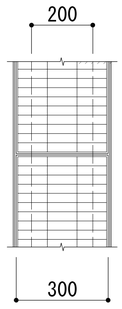


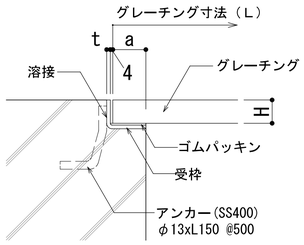
注記
1）受枠施工側としてボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調節ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。
2）本施工方式以外の方法によるも可とする。
3）パッキン及びロック機構を内蔵したものとする。
4）荷重表示をする。

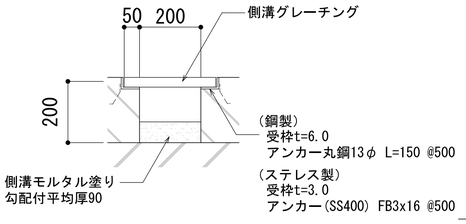
設計注意事項
1）安全荷重は破壊荷重の4分の1以下とする。
2）荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。

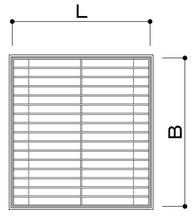
Ｄ－10　グレーチング蓋詳細図

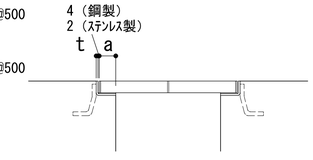
1/20 1/10











GT－　側溝用グレーチング

グレーチング形式選定表（参考）
注）ﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ、H,a,tは床用（歩行用）の参考値である。

Ａ．鋼製：設計荷重3.5kN/㎡

L（mm）	ﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ（mm）	H（mm）	a（mm）	t（mm）
～ 500	30	19	50	6
501～1.200	30	25	50	6
1,201～1,500	30	32	50	6
1,501～1,700	30	38	50	6
1,701～1,900	30	44	50	6
1,901～2,100	30	50	50	6

Ｂ．ステンレス製：設計荷重3.5kN/㎡

L（mm）	ﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ（mm）	H（mm）	a（mm）	t（mm）
～ 500	30	15	25	3
501～ 900	30	20	25	3
901～1,000	30	25	25	3
1,001～1,500	30	32	25	3
1,501～1,700	30	38	25	3

バーの種類

①	b, H	鋼製スベリ止め有

バーの種類

②	b, H	ステンレス製 スベリ止め有

仕　様
1）グレーチング、枠は製造メーカーの仕様による。
2）グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
3）鋼製グレーチング及び受枠はJIS H 8641の2種55の溶融亜鉛めっきとする。
4）パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
5）蓋には荷重表示（N, T）を行う。（蓋への表示が困難な場合は、適切な箇所に荷重表示板を設置する）
6）受枠は、アンカー筋で躯体の鉄筋に溶接して固着する。
固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。

設計注意事項
1）設計荷重は歩行用3.5kN/㎡とする。
2）許容たわみ量は、歩行用Ｌ／300以下（Ｌはスパン長）とする。
3）多雪地域は、ラバー付を標準とする。
4）本図は歩行用に適用し、車両用は、別途Ｔ荷重仕様とする。
5）すべり止めは、特別の配慮が必要な場合を除き、「有」を原則とする。

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（３）		
縮尺		図面番号	D-34

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

D－11　アルミニウム製手すり詳細図　　1/25 1/10

材料

1）材種はJISH4100によるA6063S-T5またはA6063-T6またはA6061S-T6とし押出し形材を使用する。

2）設計条件

部材名	荷重方向	設計荷重	
笠 木	水平方向	設計耐力	1.5kN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1.0kN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
支 柱	水平方向	設計耐力	2.7kNまたは3.0kN
		たわみ量	局部荷重500Nで1/100以下

3）表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のＢ－１種とする。

4）支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G3101によるSS400とし亜鉛めっきはJIS H8610の５級（クロメート被覆は、JIS H8625のＣＭ2C）以上とする。

5）小ネジの類はステンレス（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7)とする。

取付・その他

1）形状

単位（mm）

	支柱間隔	笠木	バラスター中心間隔	高さ	下部のすき間	控柱
廊下・ﾊﾞﾙｺﾆｰ	1800 又は2000	—	@150	1,100	100	—
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

2）現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。

3）切断面の処置はバリ等を適切な法方で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。

4）設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る。

特記事項

1）Ｗを（階段 1,500 内外　その他 1,800～2,000）とする。

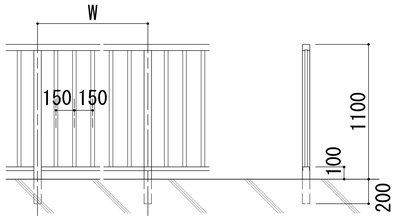
2）継手部、コーナー等は小口の面取りなど、安全対策を行う事。

3）柱脚定着方法は、固定式埋込タイプを標準とするが、床との取合いにより定着長さ200mmの確保が困難な場合はベースアングルタイプとする。

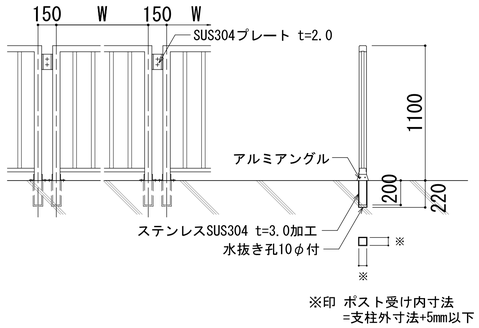
4）控柱の形状、アンカーはメーカー仕様とする。

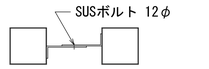
5）ベースポストの仕様は、製造メーカー仕様によるものとし、設計耐力を満足するものとする。

－1．アルミニウム製手すり（固定式）HR-1



－2．アルミニウム製手すり（取外し式）HR-2

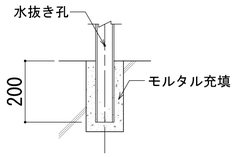




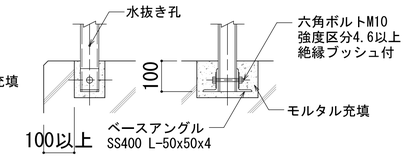
手すりつなぎ部平面
納まりはメーカー仕様による

柱脚固定式

（1）埋込タイプ

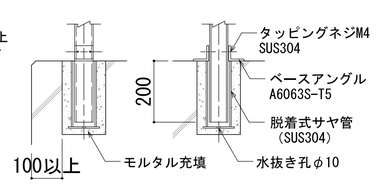


（2）ベースアングルタイプ

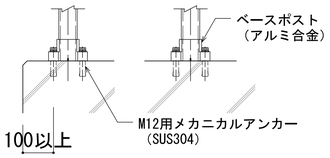


柱脚取外式

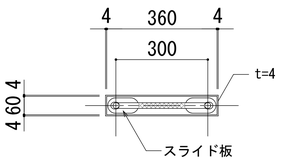
（1）ポスト受けタイプ



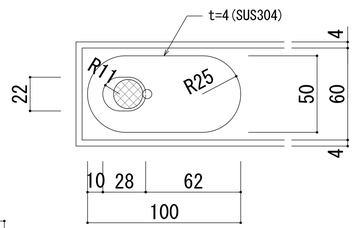
（2）ベースポストタイプ

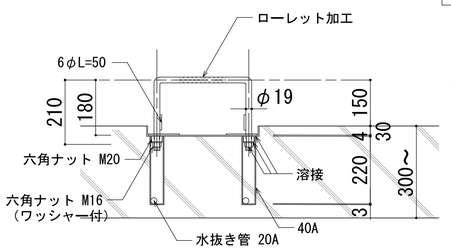


D－12　手掛り（落込み式）詳細図（OAT-1）　　1/10



スライド板詳細図　1/2



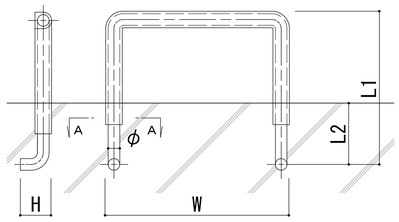


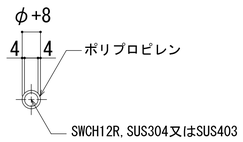
注記

1）材料は、全てSUS304を用いる。

2）水抜き管は、水路又は池側へ設ける。

D－13　タラップ（足掛金物）詳細図　　1/5

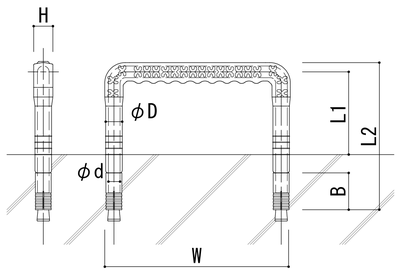




（A－A断面図）

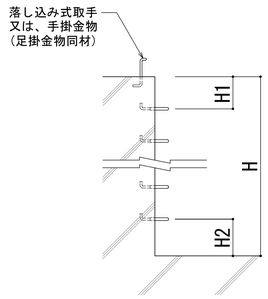
先付けタイプ形状寸法表（H-15-1）

品種	W2	L1	L2	H	φ
ポリプロピレン	◦ 300	250	100	50	19
	⊙ 400	300	150	50	22



後付けタイプ形状寸法表

品種	W	L1	L2	B	H	φd	φD
樹脂被覆	◦ 303	135	240	60	19	27	31.5
	⊙ 400	135	240	60	19	27	31.5



一般の場合

注記

1）ポリプロピレン製の形状寸法は製造メーカーの仕様による。

2）芯材の材質は、SWCH12R、SUS304又はSUS403とする。

3）壁に100mm以上埋め込む。

4）-1の足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。

5）足掛金物の取付間隔は350mmを標準とする。

6）形状寸法表のうち○印の有るものを適用する

7）手掛り金物として落し込み取手を設る。
尚、足掛金物が向かい合って設置される場合は１箇所のみ設ける。

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

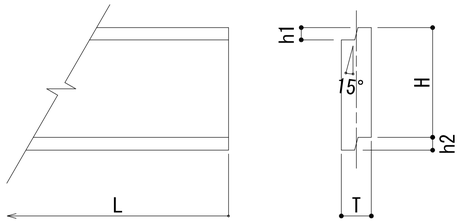
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（４）		
縮尺		図面番号	D-35

課長　係長　審査　調査　設計　測量

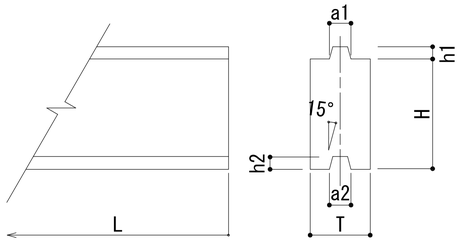
魚沼市産業経済部建設課

D－14　合成木材製角落し　　1/5 1/25

－1．（厚み50mm）以下（タイプA）



－2．（厚み59mm）以上（タイプB）

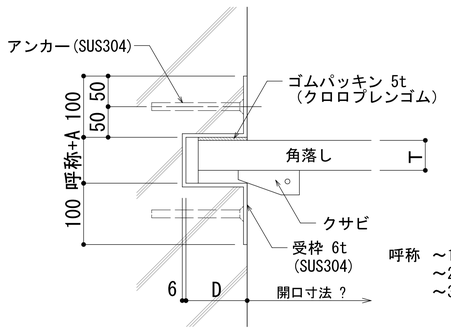


形状寸法表　　（mm）

タイプ	寸法 呼称	板厚 T	はめあい溝 a1	a2	h1	h2	有効高さ H	長さ L	参考質量(kg/m²) 比重0.5	比重0.74	比重1.0	受枠寸法 内幅 呼称+A	A	奥行き D	取手タイプ I	II
A	50	49	－	－	20	20	170-600		25.0	37.0	50.0	75	25	100	○	－
B	60	59	20	20.5	20	21	170-600		30.0	44.4	60.0	85	25	100	○	－
	70	69	25	25.5	20	21	170-600		35.0	51.8	70.0	95	25	100	○	－
	80	78	25	25.5	20	21	170-600		39.0	57.7	78.0	105	25	100	○	－
	100	98	35	35.5	20	21	170-600	?+160	49.0	72.5	98.0	125	25	100	○	○
	120	118	40	40.5	20	21	170-600		59.0	87.3	118.0	145	25	100	○	○
	140	138	45	45.5	30	31	160-600		69.0	102.1	138.0	165	25	100	○	○
	150	147	45	45.5	30	31	160-300		73.5	108.7	147.0	175	25	120	○	○
	160	157	50	50.5	30	31	160-300		78.5	116.2	157.0	185	25	120	○	○
	180	177	55	55.5	30	31	160-300	?+200	88.5	131.0	177.0	205	25	120	○	○
	200	197	65	65.5	30	31	160-300		98.5	145.8	197.0	225	25	120	○	○
	210	207	70	70.5	30	31	160-300		103.5	153.2	207.0	235	25	120	○	○

注）1）合板木材を貼り合わせ接着する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
　　2）参考質量は、金具（引き上げ用取手）の重量は含まない。
　　3）製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。（形状寸法表内の太枠は、厚み選定表範囲外を示す）
　　4）製品比重1.0は、比重調整用重り（SUS製）を本体内外に組み込み作成する。
　　5）角落し厚み350mmを超える場合はスパン（L）と水深（H）によ都度設計する。
　　6）許容たわみ量は ?/200 とする。
　　6）合成木材は、ガラス長繊維強化硬質発砲ウレタン樹脂の材質を示す。

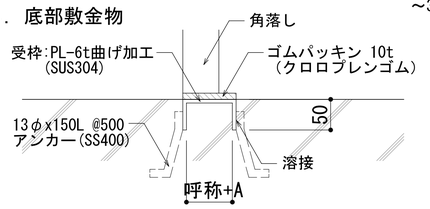
－3．受枠　曲げ加工タイプ



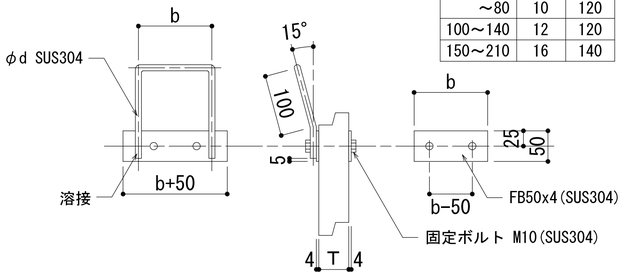
（D）
呼称　～140:100mm
　　～250:120mm
　　～350:150mm

（A）
呼称　～210: 25mm
　　～290: 30mm
　　～350: 40mm

－4．底部敷金物



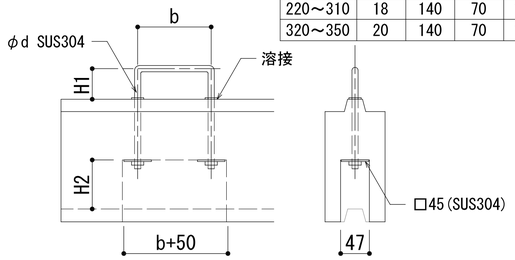
－5．取手（タイプⅠ）



タイプⅠ取手寸法表

寸法 / 呼称	サイズ（mm） φd	b
～80	10	120
100～140	12	120
150～210	16	140

－6．取手（タイプⅡ）

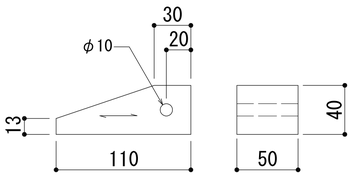


タイプⅡ取手寸法表

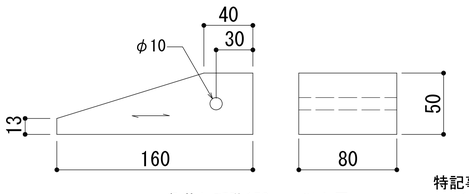
寸法 / 呼称	サイズ（mm） φd	b	H1	H2
100～140	12	120	50	80
150～210	16	140	50	80
220～310	18	140	70	120
320～350	20	140	70	120

注）1）取手の材質は、SUS304φ10を基本とする。
　　2）受枠は、SUS304製とし、アンカー(SS400)φ13x150Lを受枠に溶接する。
　　3）アンカーは、躯体の鉄筋に溶接して固着する。

－7．浮力防止用クサビ



角落し呼称140mm以下用

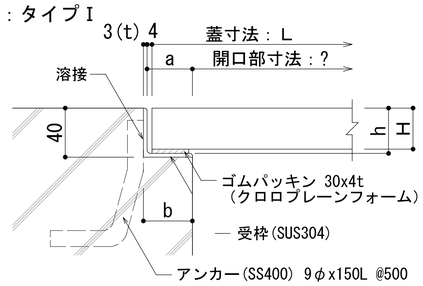


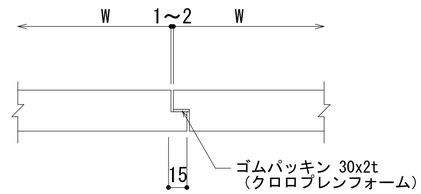
角落し呼称150mm以上用

特記事項
1）浮力防止用クサビを、最上段部に使用する。

D－15　合成木材蓋　　1/25 1/10

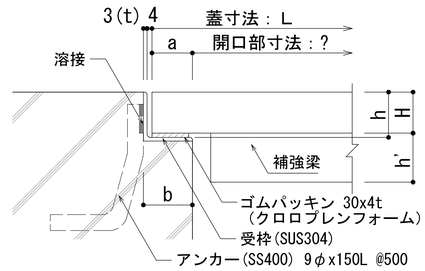
蓋形式：タイプⅠ

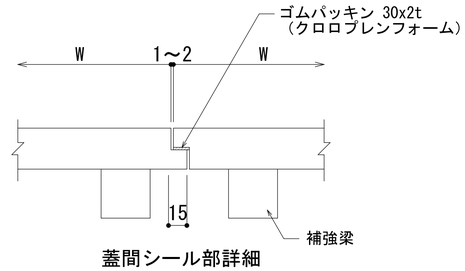




蓋間シール部詳細

蓋形式：タイプⅡ（補強梁付き）





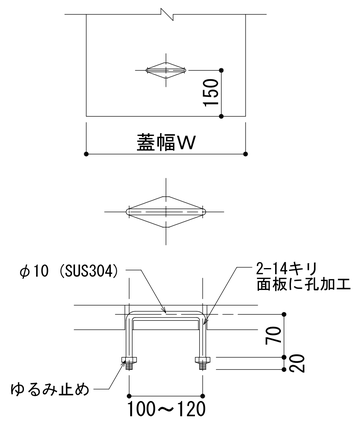
蓋間シール部詳細

合成木材蓋（単板蓋）形式選定表　（参考）

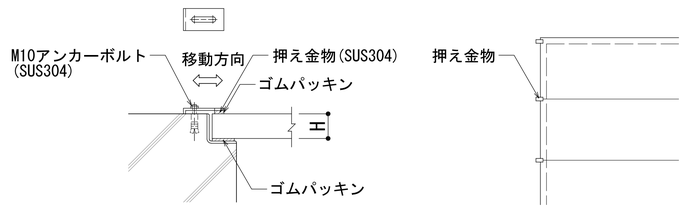
タイプ区分		蓋形式（LXWXH）	開口部寸法 ?(mm)	受枠寸法(mm) a	h	h'	b	t	蓋重量 (kg/m²)
I	①	(　～1066) X 600 X 33.5	～ 1000	33	37		40	3	20
	②	(1067～1266) X 600 X 33.5	1001 ～ 1200	33	37		40	3	22
II 補強梁付	③	(1267～1666) X 600 X 33.5	1201 ～ 1600	33	37	40	40	3	23
	④	(1667～2066) X 600 X 33.5	1601 ～ 2000	33	37	60	40	3	24

注）1）受枠寸法のｈにはパッキン厚を含む。
　　2）蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300～600mmとする。
　　3）受枠が L-50x50x4t の場合、蓋裏面にスペーサー(W45x9t)を接着して対応する。
　　4）タイプ②については補強梁付きも可能とする。

落し込み取手詳細図



押え金物



仕様
1）受枠は、アンカー筋（φ9mm）で躯体の鉄筋に溶接し固着する。
　固着点は、隅角部については角を構成する辺については１点づつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
2）蓋には荷重表示（N、T）を行う。
3）蓋にはすべり止め加工を行う。
4）設計荷重は、3.5kN/m²又は中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
5）許容たわみ量はL/200以下とする。

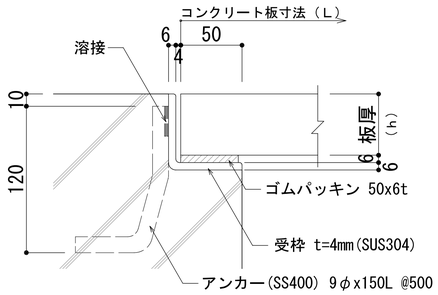
特記事項
1）蓋の形式選定は、上記表による。
2）合成木材は、ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂の材質を示す。
3）屋外設置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。
　形状寸法は、製造メーカーの仕様による。
4）板厚は、単板部分33.5mmを基本とする。

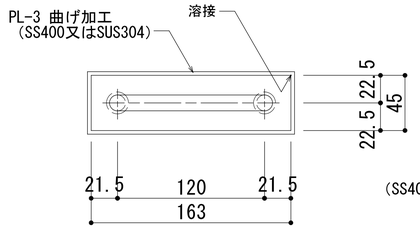
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（５）		
縮尺		図面番号	D-36

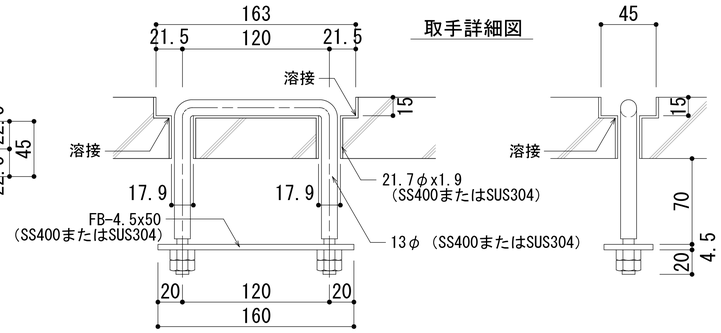
課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課



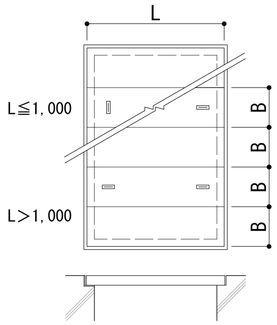


取手詳細図



仕様
1）蓋の製作はコンクリート標準示方書または公共建築工事標準仕様書による。
2）短スパン（約１ｍ以内）は、プレストレスが実際に導入されないため、鉄筋コンクリート板とする。
3）受枠は、アンカー筋で 躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
4）受枠及び取手はJIS8641の2種55の溶融亜鉛めっきとする。（SS400の場合）
5）取手は、2個／枚とする。
6）蓋には、荷重表示（Ｎ、Ｔ）を行う。

特記事項
1）設計荷重は、3.5kN/㎡ または中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重荷重とする。
2）許容たわみ量は L/400以下とする。
3）取手及び受枠の材質は、耐食性を考慮する場合、SUS304とする。
4）蓋表面をスリップ防止処理場合は、別途考慮する。
5）取手の設置間隔については、1枚当りの重量及び取り外し頻度に応じて検討すること。



床用コンクリート板選定表（参考）

タイプ	L (mm)	h (mm)	参考重量 (kg/㎡)
C－Ⅰ	～1,000	50(40)	96
C－Ⅱ	1,001～1,400	50(40)	96
C－Ⅲ	1,401～1,800	50	120
C－Ⅳ	1,801～2,100	60	144
C－Ⅴ	2,101～2,500	80	192
C－Ⅵ	2,501～3,000	80	192

注記 1）蓋の最小板厚は40mmとする。
2）寸法の許容誤差は±2mmとする。

コンクリート板蓋リスト

符号	開口寸法		蓋寸法		h	割付枚数（参考）	箇所	タイプ	取手（組）		設置場所	備考
	L1	B1	L	B					1箇所当り	合計		
PC-1	1000	1500	1100	1600	50	3	1	C-Ⅱ	2	6	除塵機室	

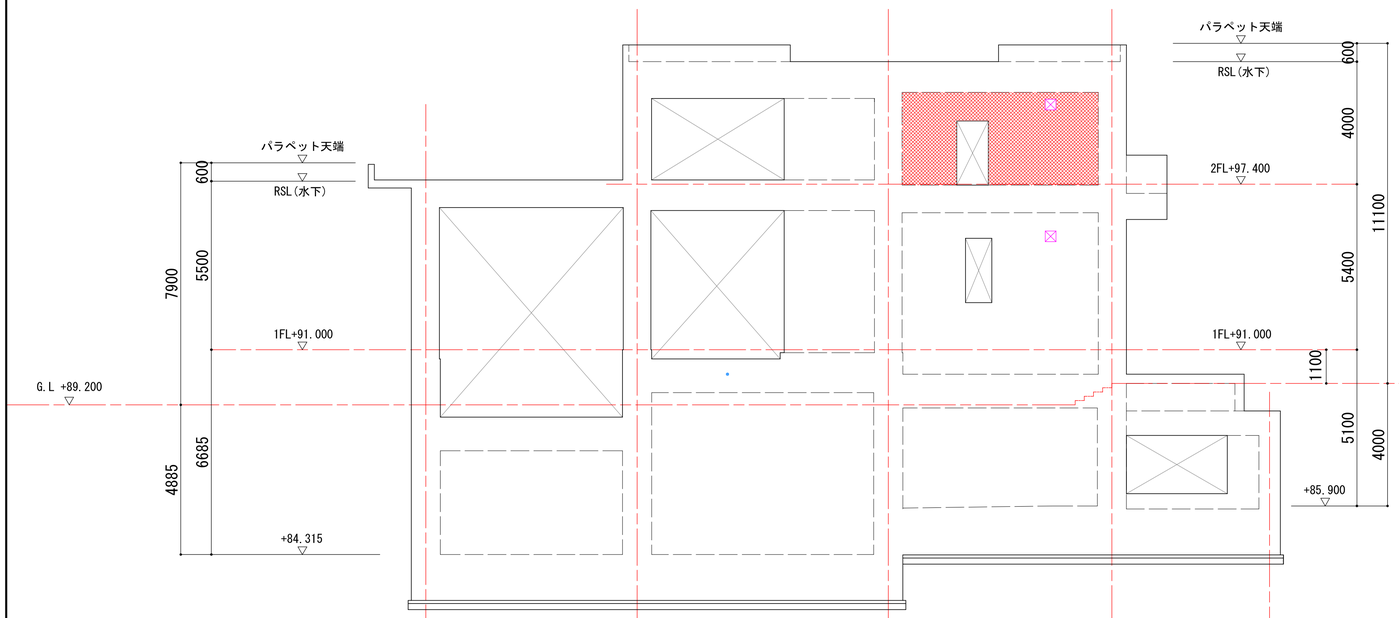
注記ー詳細は、日本下水道事業団　下水道施設標準図（詳細）Ａ－０５－１による

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

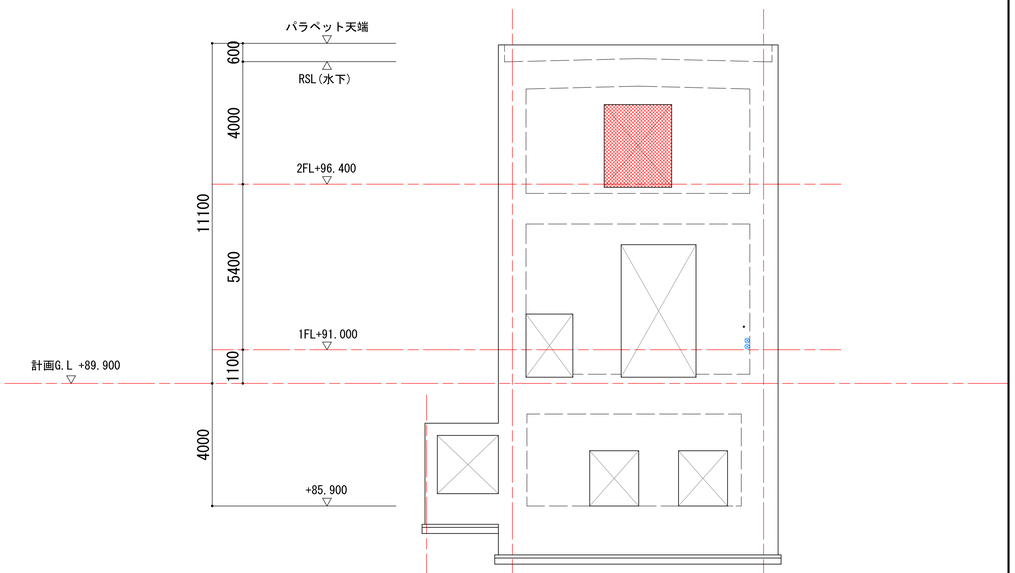
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	部分詳細図（６）		
縮尺		図面番号	D-37

課長　係長　審査　調査　設計　測量

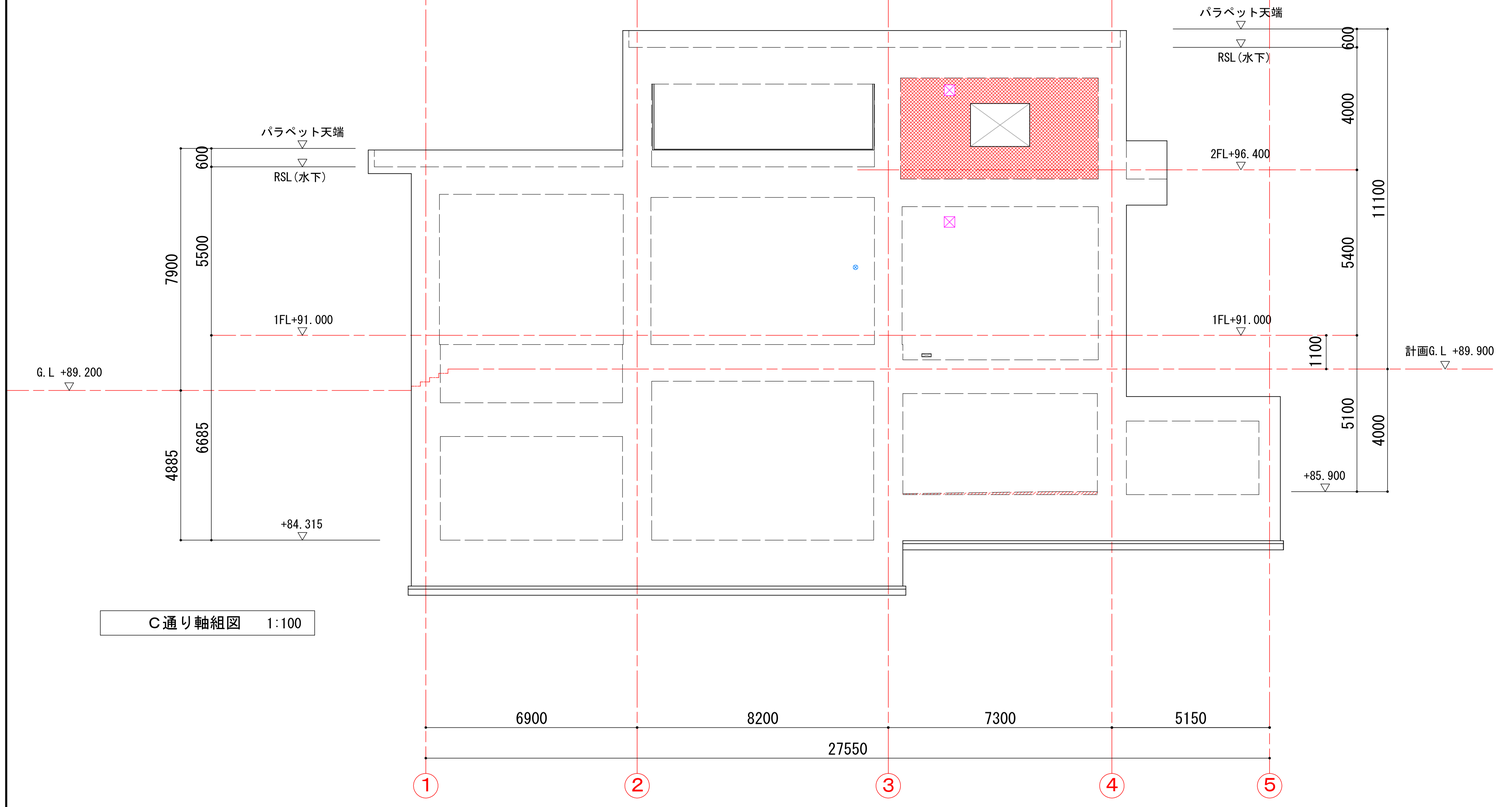
魚沼市産業経済部建設課



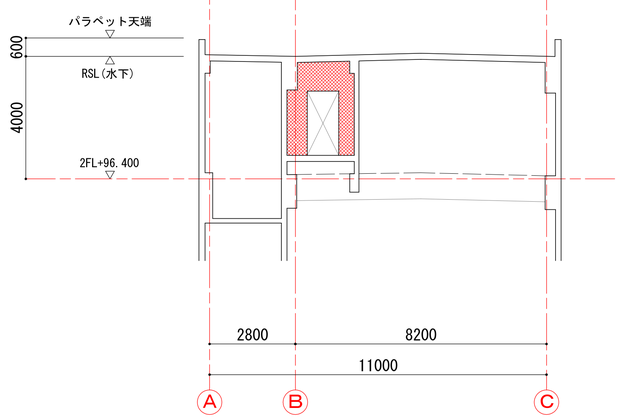
B通り軸組図　1:100



４通り軸組図　1:100



C通り軸組図　1:100



３通り-2400軸組図　1:100

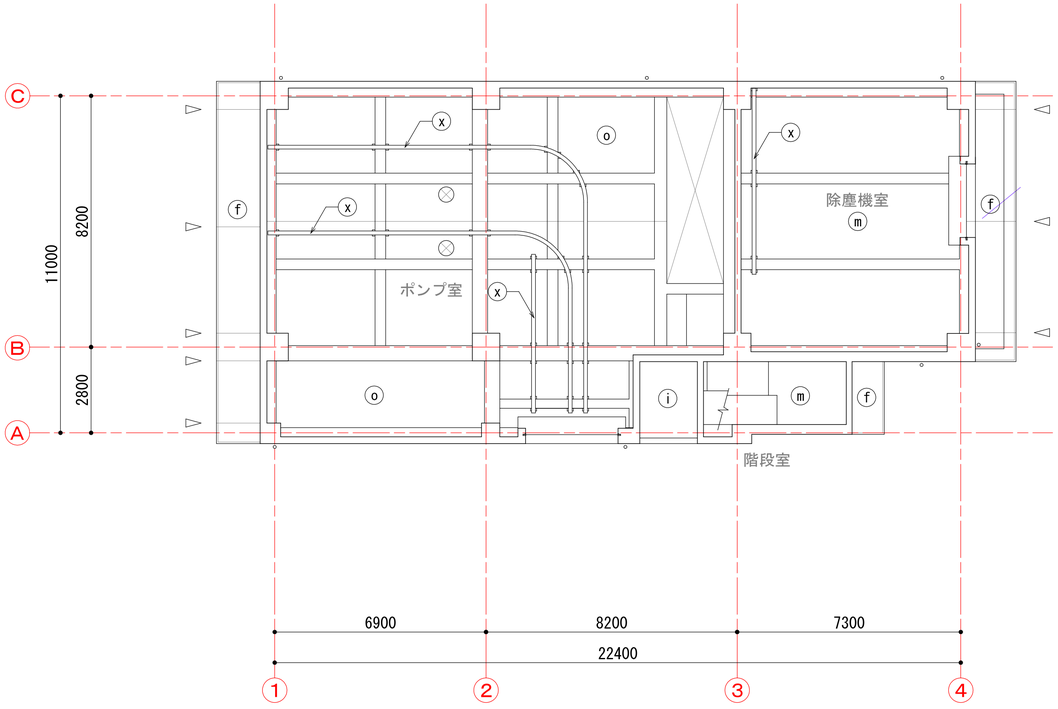
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

凡　例	
	ＰＦ板厚25打込みを示す。
注記：壁面ＰＦ板打込み部の開口廻りは、現場発砲断熱材を充填すること。	

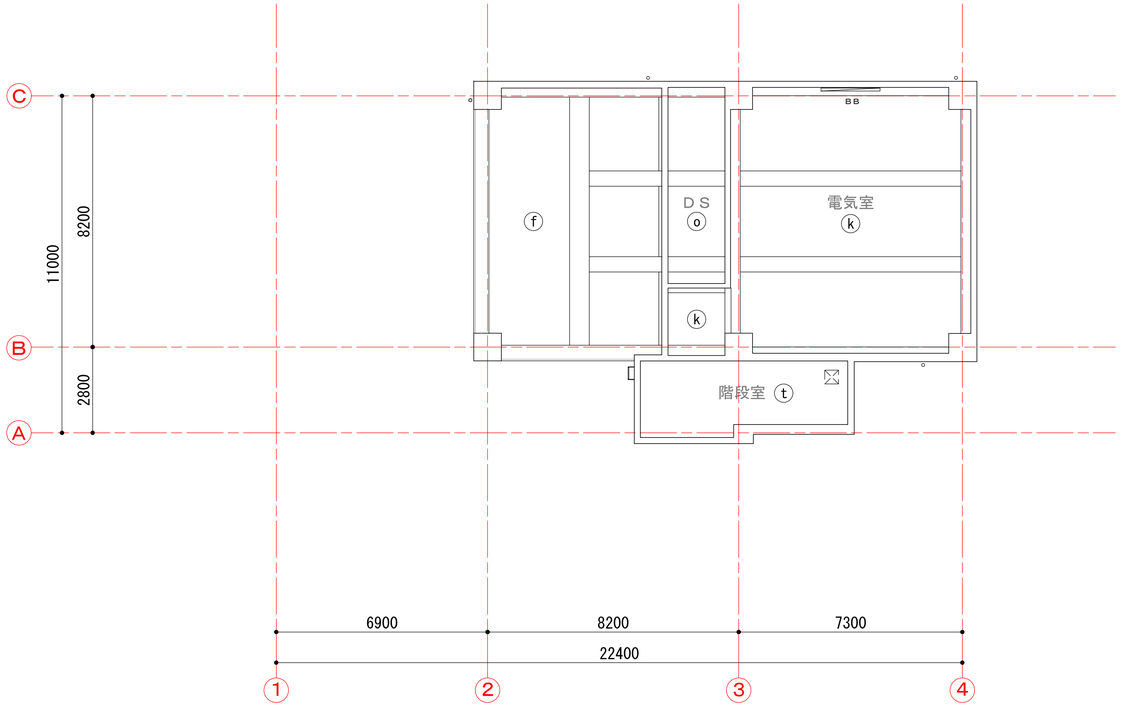
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	断熱材打込み図		
縮尺	1:100	図面番号	D-38

課長	係長	審査	設計	測量

魚沼市産業経済部建設課



１階天井伏図　1:100



２階天井伏図　1:100

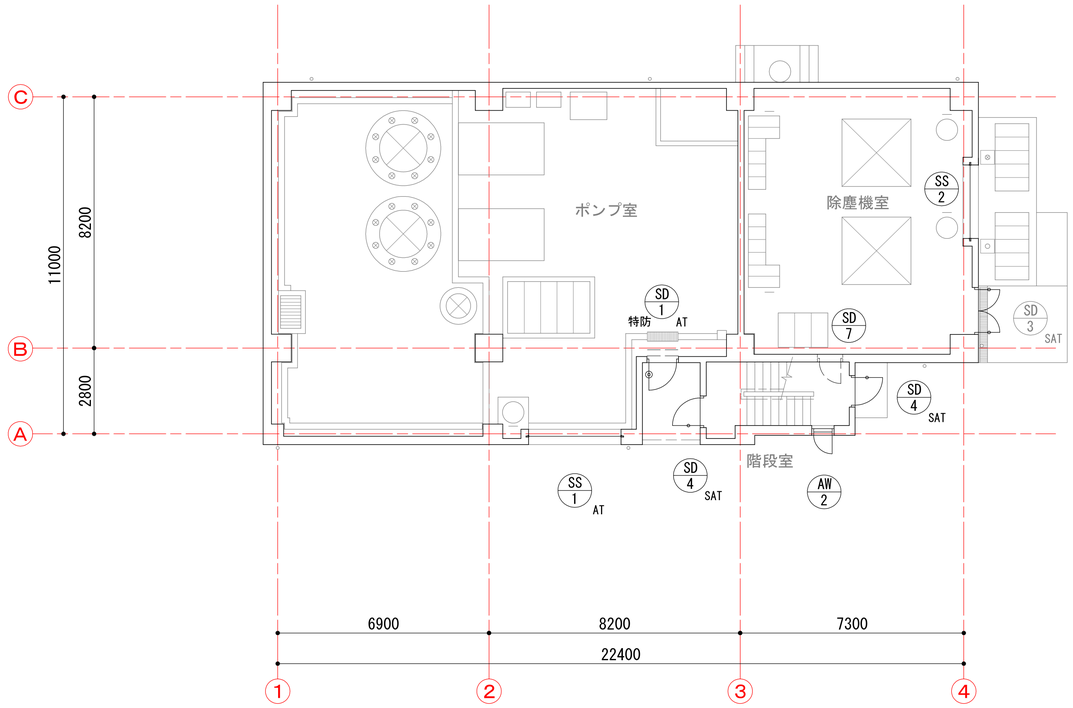
天井仕上凡例	
f	C（C）の上DP（FUE）
i	ケイカル板の上AE
k	C（C）の上EP－G
m	C（C）
o	グラスウール吸音板厚50 ガラスクロス押え
t	GB-NC（NT）
x	ホイストレール
▷	誘発目地（シーリング PU-2 20x10）を示す
BB	ブラインドボックスを示す。
⊠	天井点検口　450角

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

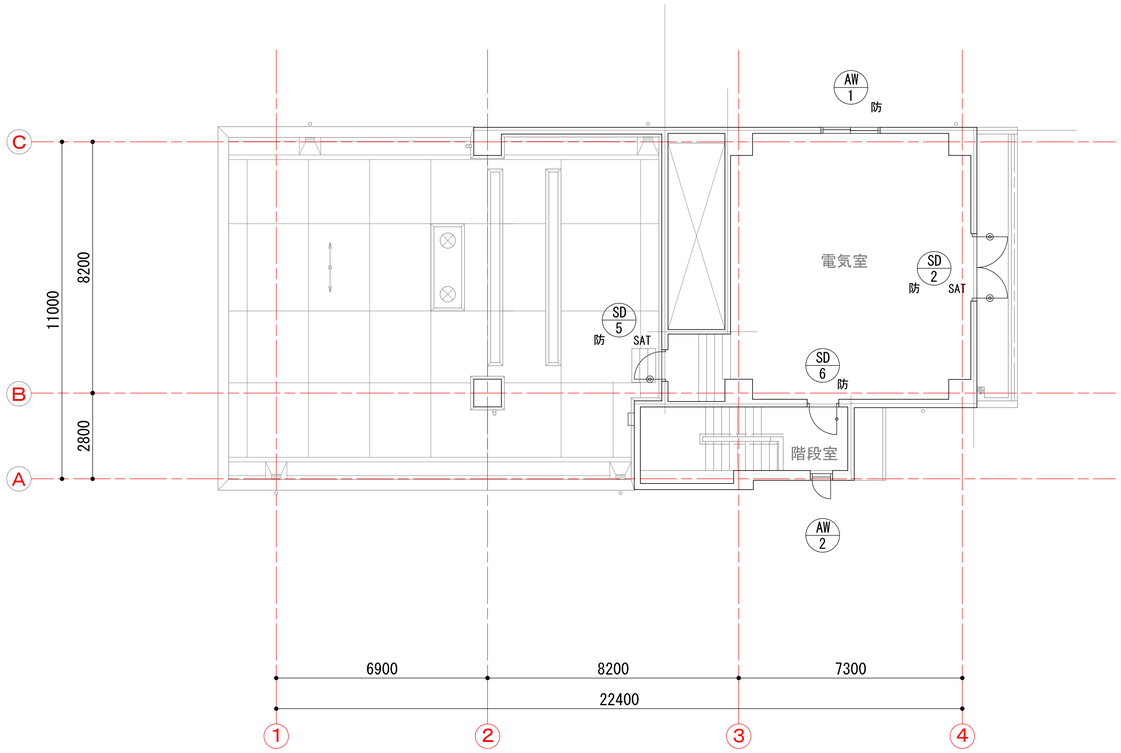
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	天井伏図		
縮尺	1:100	図面番号	D-39

課長		係長		審査		調査		設計		測量	

魚沼市産業経済部建設課



１階建具配置図　1:100



２階平面図　1:100

凡　例	
	ドアクローザー付き（ストップなし）開き扉を示す
	ドアクローザー付き開き扉を示す
ＳＡＴ	簡易気密扉を示す。
ＡＴ	防臭、防音扉を示す。
防	防火設備を示す。
特防	特定防火設備を示す。

※　防火設備は、H12建設省告示第1360号に規定する構造又は国土交通大臣認定する認定番号を取得したものとする。
※　特定防火設備は、H12建設省告示第1369号に規定する構造とする

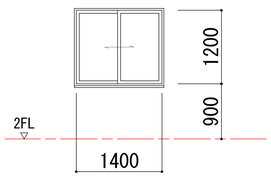
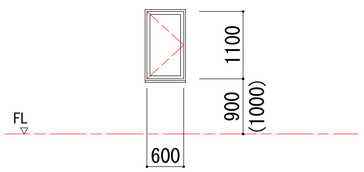
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

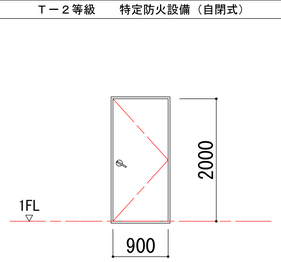
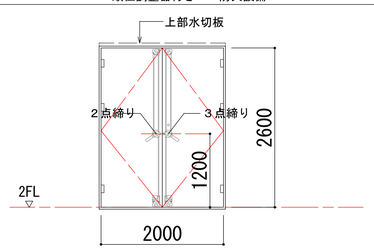
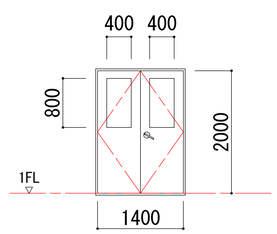
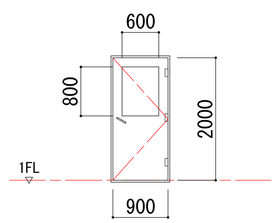
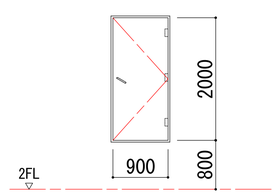
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	建具配置図		
縮尺	1:100	図面番号	D-40

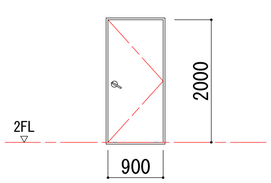
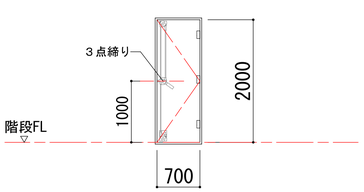
課長		係長		審査		調査		設計		測量	

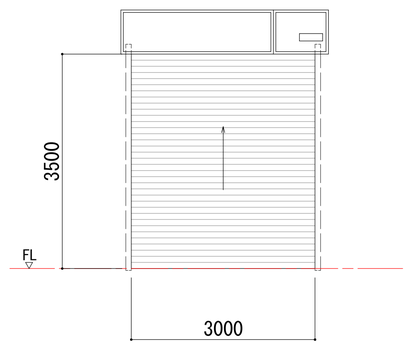
魚沼市産業経済部建設課

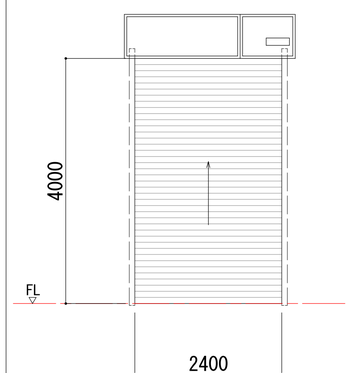
建具表

符号・名称・個数	AW 1 引違い窓 1	AW 2 片開き窓 3					
場所	電気室	階段室					
仕上（枠共）	Ｂ－１種	Ｂ－１種					
建具 見込（ランマ）							
建具 硝子（ランマ）	Ｎ６．８	Ｎ６．８					
建具 ガラリ							
建具枠 見込取合　沓摺	７０	７０					
枠記号　沓摺(水切)記号	Ａ－７　ａ－１	Ａ－１４　ａ－１					
建具金物	クレセント　他付属金物一式	レバーハンドル　他付属金物一式					
その他							
形状・寸法							

符号・名称・個数	SD 1 片開き防音フラッシュ戸 1	SD 2 両開きフラッシュ戸 1	SD 3 両開きフラッシュ戸 1	SD 4 片開きフラッシュ戸 2	SD 5 片開きフラッシュ戸 1	SS 1 電動式防音シャッター（常時閉鎖） 1	SS 2 電動式重量シャッター 1
場所	ポンプ室	２階：電気室	除塵機	１階階段室	電気室	ポンプ室	除塵機室
仕上（枠共）	ＤＰ	ＤＰ	ＤＰ	ＤＰ	ＤＰ	ＤＰ	ＤＰ
建具 見込（ランマ）	５０	６０	４０	４０	４０	Ｇ形ホロースラット厚１．６（内部ロックウール、制振ゴム充填）	Ｇ形スラット厚１．６
建具 硝子（ランマ）			Ｎ６．８	Ｎ６．８			
建具 ガラリ							
建具枠 見込取合　沓摺	１５０	１７０	１２０	１２０	１２０		
枠記号　沓摺(水切)記号	ＡＴ－４　ｋ	ＡＴ－１　ｋ	ＳＡＴ－３　ａ	ＳＡＴ－３　ｈ	ＳＡＴ－３　ｈ	図　示	図　示
建具金物	丁番　両面締りハンドル　DC(ストッパー無し) シリンダー本締り錠（内部サムターン）	面付本締錠（内部サムターン）付３点両面+２点締りハンドル 大型丁番(6枚)　大型戸当り・あおり止め　DC（ｽﾄｯﾊﾟｰ無）	丁番　レバーハンドル　DC(ストッパー付)	丁番　レバーハンドル　DC(ストッパー付)	丁番　レバーハンドル　DC(ストッパー無)	マグサ・ガイドレール・座板共にステンレス製 障害物検知装置（光電センサ方式）　３点押ボタンスイッチ（0.5kw）	マグサ・ガイドレール・座板共にステンレス製 障害物検知装置（座板スイッチ方式）
その他	Ｔ－２等級　特定防火設備（自閉式）	順位調整器付き　防火設備			防火設備	遮音等級Ｔ－２　「耐風圧性能1250Pa」	３点押ボタンスイッチ（0.25kw）　「耐風圧性能1250Pa」
形状・寸法							

符号・名称・個数	SD 6 片開きフラッシュ戸 1	SD 7 片開きフラッシュ戸 1			
場所	電気室	階段室			
仕上（枠共）	ＳＯＰ	ＳＯＰ			
建具 見込（ランマ）	４０	４０			
建具 硝子（ランマ）					
建具 ガラリ					
建具枠 見込取合　沓摺	１２０	１５０			
枠記号　沓摺(水切)記号	Ｓ－１　ｄ	ＡＴ－５　ｍ			
建具金物	丁番（3枚）　レバーハンドル（空錠） DC（ｽﾄｯﾊﾟｰ無）	面付本締錠付き３点両面締りハンドル ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠　丁番（3枚）　DC（ｽﾄｯﾊﾟｰ付）			
その他	防火設備				
形状・寸法					





※「常時閉鎖」とシャッターに記載（消防特例のため）

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－３）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

共通事項

1.特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
　但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
2.パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
　（内部サムターン付）
3.便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
4.ＡＨ、ＦＨを除きＤＣの有無にかかわらず出入り口には戸当り、あおり止め（防火戸を除）をつける。
　壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
5.特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。（SUS製1.5φ　網目15×15）
6.アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
7.大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付とする。
8.特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠廻り詳細による）
9.特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
10.防火戸の位置は建具配置図による。
11.特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
12.特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付きとする。
13.特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。
14.詳細番号（D-OO-1）は下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備（機械）編
　平成25年度日本下水道事業団　編著の詳細番号を示す。
15.１枚の戸の H>2400 又は W>950 の場合の鋼板類の厚さは公共建築工事標準仕様書
　（「建築工事編」平成28年版）の表16.4.2、表16.5.1、表16.6.1の厚さ以上とする。
16.階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

建具略号	種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
	アルミニウム製	ＡＤ	ＡＷ	ＡＧ	ＡＯＤ			ＡＳ	ａＷ
	鋼製	ＳＤ	ＳＷ	ＳＧ	ＳＯＤ			ＳＳ	
	鋼製軽量	ＬＤ						ＬＳ	
	ステンレス製	ＳＳＤ	ＳＳＷ	ＳＳＧ				ＳＳＳ	
	木製	ＷＤ	ＷＷ	ＷＧ		Ｐ	Ｈ		

ガラス略号		金物略号	
Ｆ	型板ガラス	Ｄ Ｃ	ドアクローザー
Ｐ	フロート板ガラス	Ａ Ｈ	オートヒンジ
Ｎ	網入型板ガラス	Ｆ Ｈ	フロアヒンジ
Ｎ Ｐ	網入みがき板ガラス	Ｐ Ｈ	ピボットヒンジ

※防火設備はH12建設省告示第1360号に規定する構造又は国土交通大臣が認定する認定番号を取得したものとする。
※特定防火設備はH12建設省告示第1369号に規定する構造とする。

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	建具表		
縮尺		図面番号	D-41

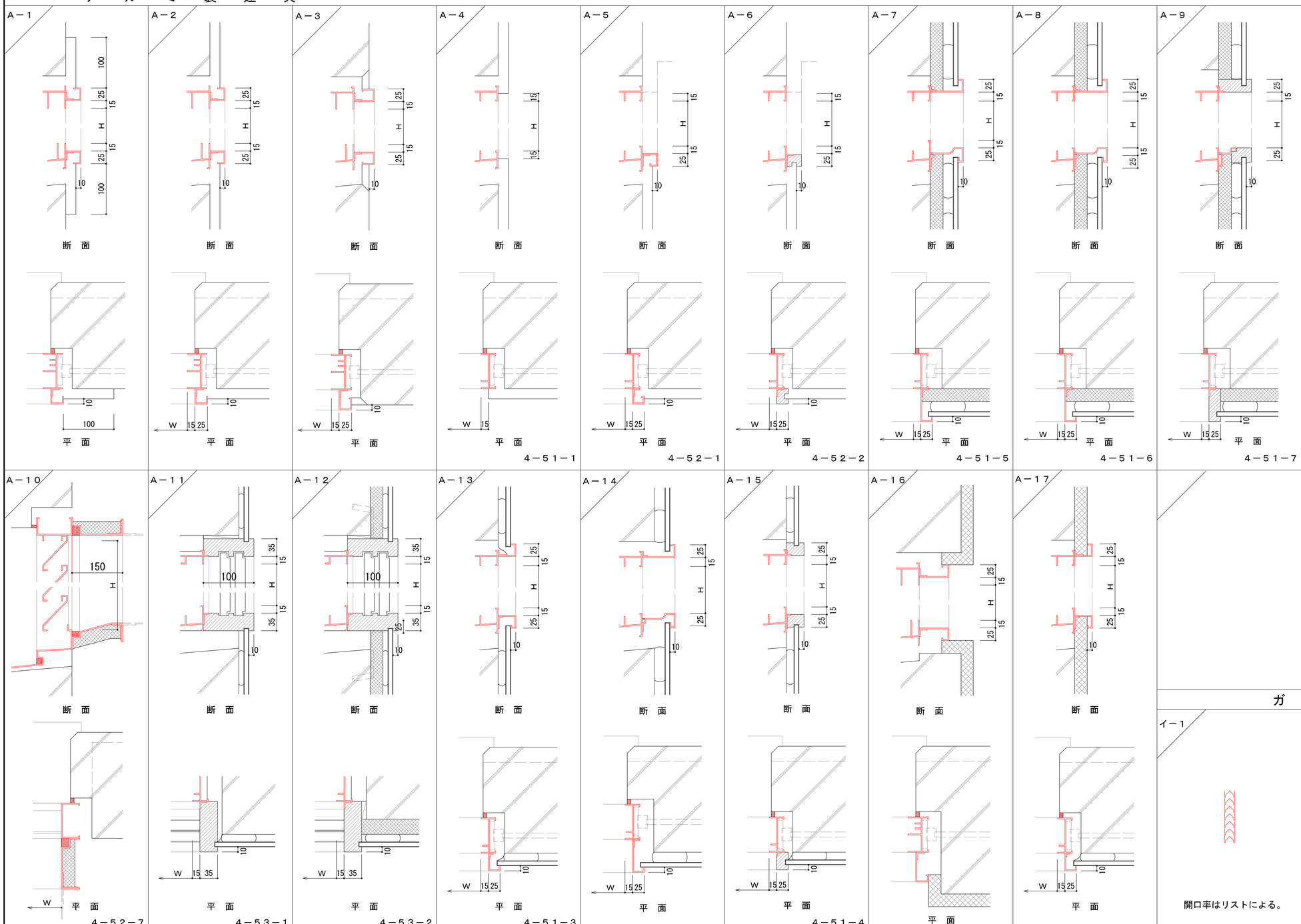
課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

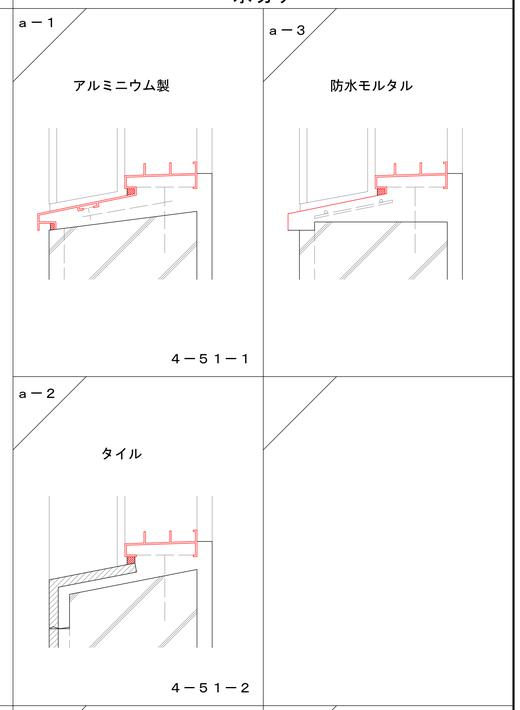
建具枠廻り詳細及び記号（アルミ製建具）

※建築工事標準詳細図（平成28年版　国土交通大臣官房官庁営繕部監修）参照
※下水道施設標準図（詳細）（平成25年版　日本下水道事業団　編著）参照

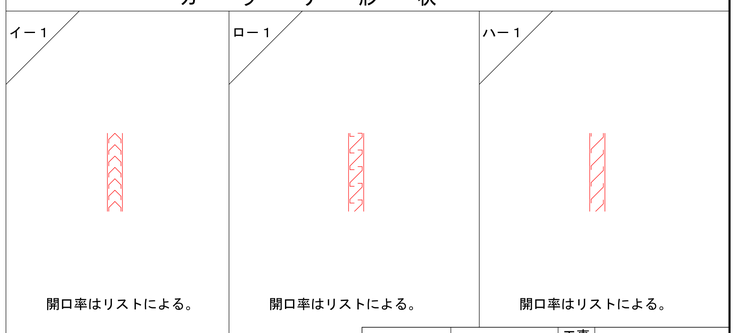
アルミ製建具



水切り



ガラリ形状



共通事項

1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
   但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
2. パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
   （内部サムターン付）
3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
4. ＡＨ、ＦＨを除きＤＣの有無にかかわらず出入り口には戸当り、あおり止め（防火戸を除）をつける。
   壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。（SUS製1.5φ　網目15×15）
6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付とする。
8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠廻り詳細による）
9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
10. 防火戸の位置は建具配置図による。
11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
12. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付きとする。
13. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。
14. 詳細番号（D-OO-1）は下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備（機械）編
    平成25年度日本下水道事業団　編著の詳細番号を示す。
15. １枚の戸の H>2400 又は W>950 の場合の鋼板類の厚さは公共建築工事標準仕様書
    （「建築工事編」平成28年版）の表16.4.2、表16.5.1、表16.6.1の厚さ以上とする。
16. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

建具略号

種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	ＡＤ	ＡＷ	ＡＧ	ＡＯＤ			ＡＳ	Ａｗ
鋼製	ＳＤ	ＳＷ	ＳＧ	ＳＯＤ			ＳＳ	
鋼製軽量	ＬＤ						ＬＳ	
ステンレス製	ＳＳＤ	ＳＳＷ	ＳＳＧ				ＳＳＳ	
木製	ＷＤ	ＷＷ	ＷＧ		Ｐ	Ｈ		

ガラス略号

Ｆ	型板ガラス
Ｐ	フロート板ガラス
Ｎ	網入型板ガラス
ＮＰ	網入みがき板ガラス

金物略号

ＤＣ	ドアクローザー
ＡＨ	オートヒンジ
ＦＨ	フロアヒンジ
ＰＨ	ピボットヒンジ

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	建具枠廻り詳細図（１）		
縮尺		図面番号	D-42

課長　係長　審査　調査　設計　測量

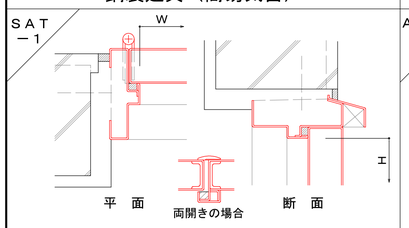
魚沼市産業経済部建設課

建具枠廻り詳細及び記号（鋼製・鋼製軽量建具）

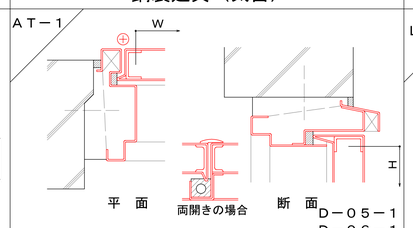
※ステンレス製建具も下図に準ずる

※建築工事標準詳細図（平成28年版　国土交通大臣官房官庁営繕部監修）参照
※下水道施設標準図（詳細）（平成25年版　日本下水道事業団　編著）参照

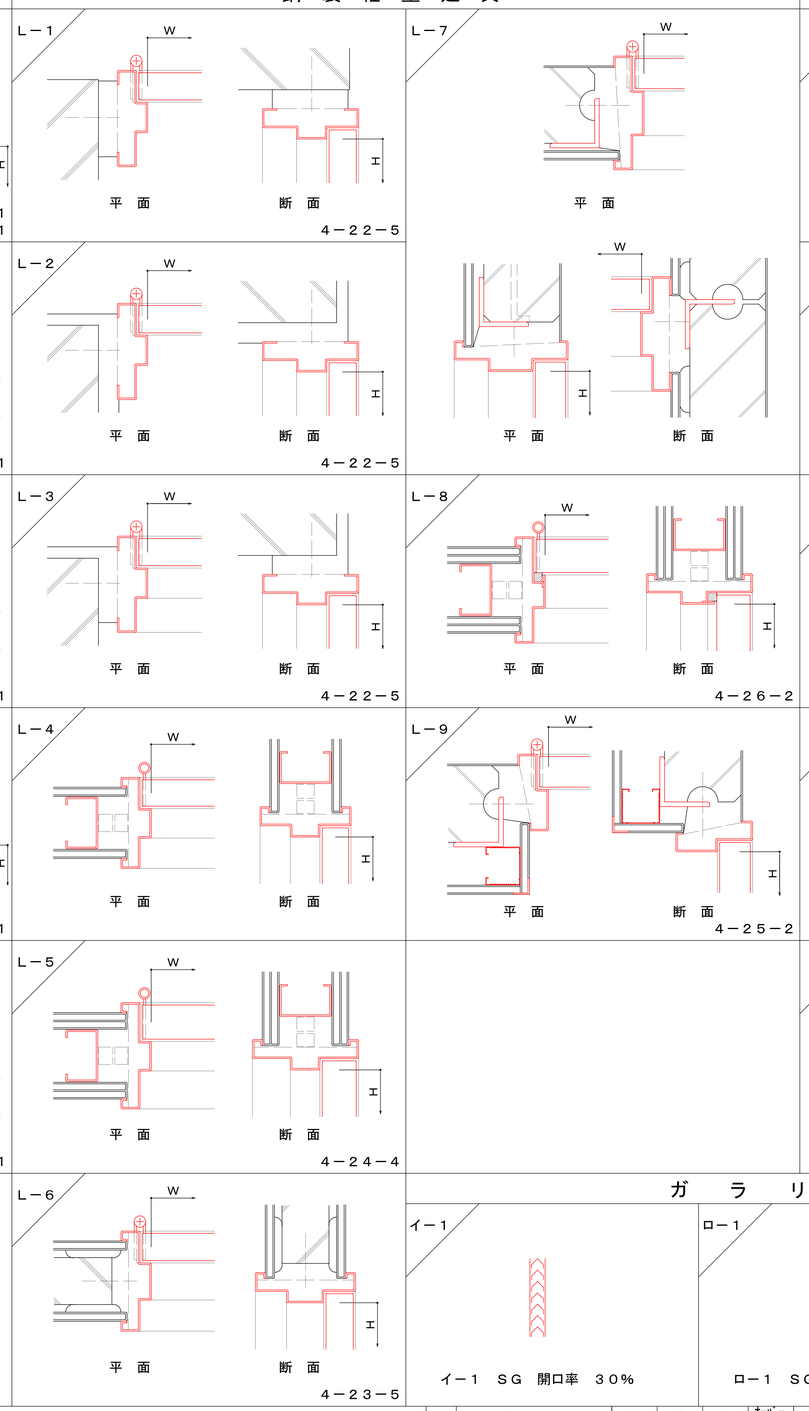
鋼製建具（簡易気密）



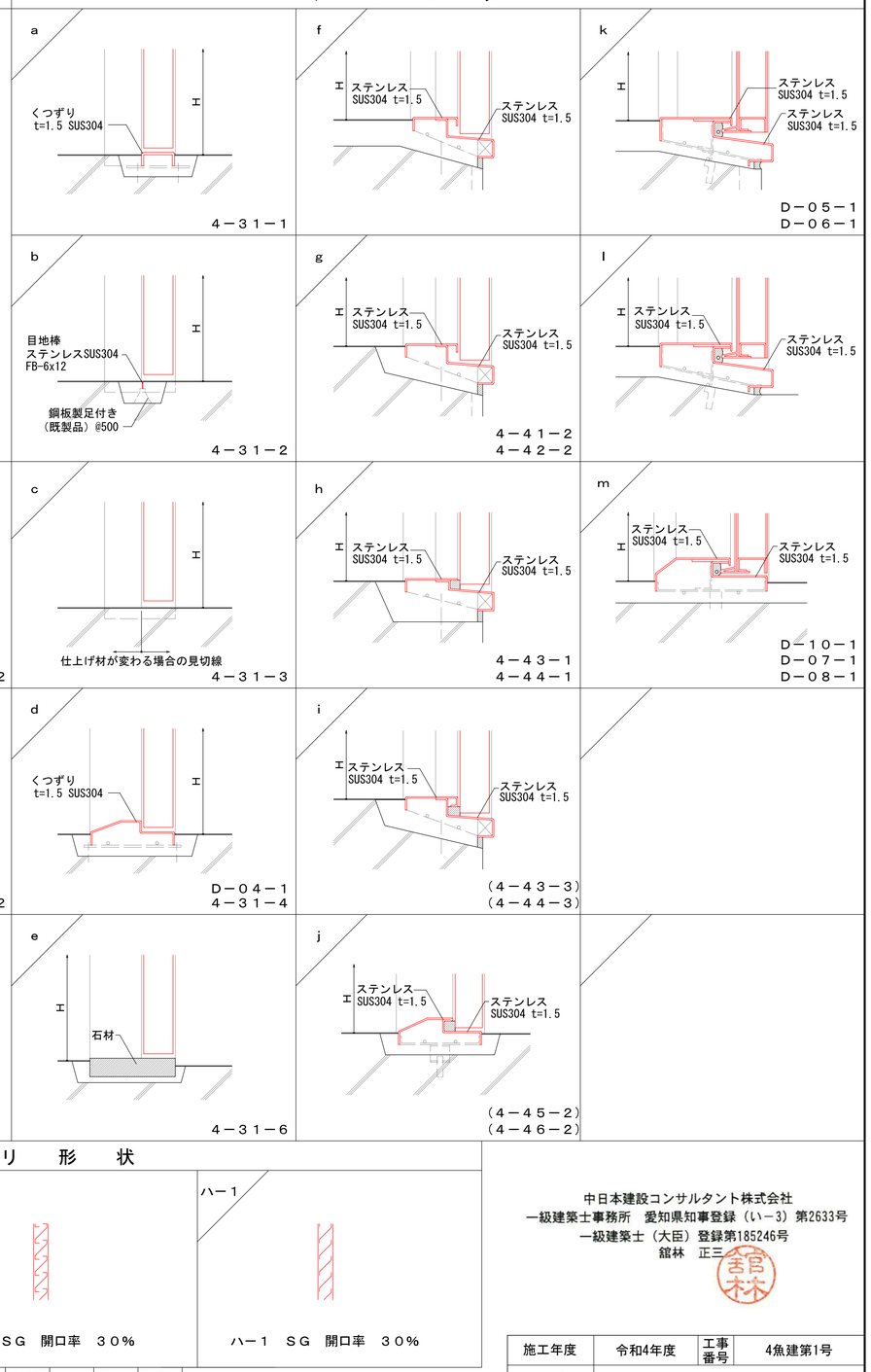
鋼製建具（気密）



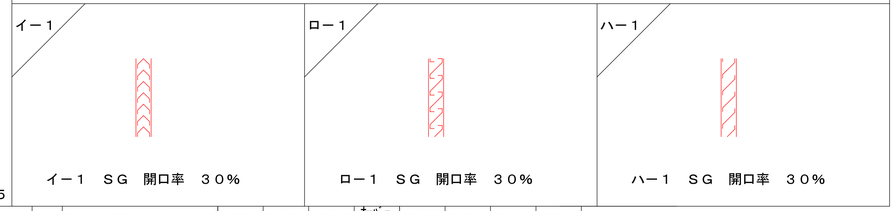
鋼　製　軽　量　建　具



く　つ　づ　り



ガ　ラ　リ　形　状



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

共通事項

1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
   但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
2. パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
   （内部サムターン付）
3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
4. ＡＨ、ＦＨを除きＤＣの有無にかかわらず出入り口には戸当り、あおり止め（防火戸を除）をつける。
   壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。（SUS製1.5φ　網目15×15）
6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付とする。
8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠廻り詳細による）
9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
10. 防火戸の位置は建具配置図による。
11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
12. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付きとする。
13. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。
14. 詳細番号（D-○○-1）は下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備（機械）編
    平成25年度日本下水道事業団　編著の詳細番号を示す。
15. １枚の戸の H>2400 又は W>950 の場合の鋼板類の厚さは公共建築工事標準仕様書
    （「建築工事編」平成28年版）の表16.4.2、表16.5.1、表16.6.1の厚さ以上とする。
16. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

建具略号

種　別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	Aw
鋼　製	SD	SW	SG	SOD			SS	
鋼製軽量	LD						LS	
ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS	
木　製	WD	WW	WG		P	H		

ガラス略号

F	型板ガラス
P	フロート板ガラス
N	網入型板ガラス
NP	網入みがき板ガラス

金物略号

DC	ドアクローザー
AH	オートヒンジ
FH	フロアヒンジ
PH	ピボットヒンジ

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	建具枠廻り詳細図（２）		
縮尺		図面番号	D-43

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

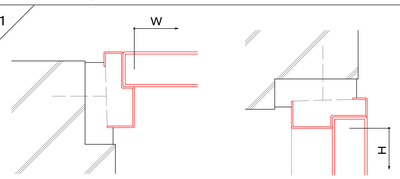
建具枠廻り詳細及び記号（鋼製建具）

※ステンレス製建具も下図に準ずる

※建築工事標準詳細図（平成28年版　国土交通大臣官房官庁営繕部監修）参照
※下水道施設標準図（詳細）（平成25年版　日本下水道事業団　編著）参照

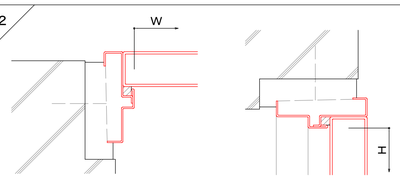
鋼　製　建　具（一　般）

S－1



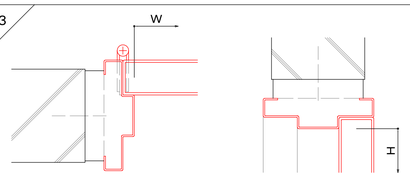
4－21－1

S－2



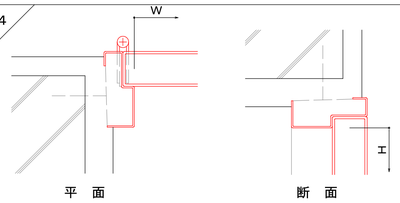
4－21－2

S－3

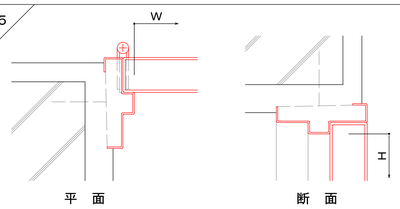


4－21－5

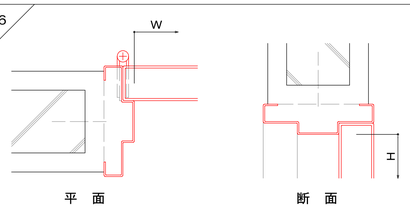
S－4



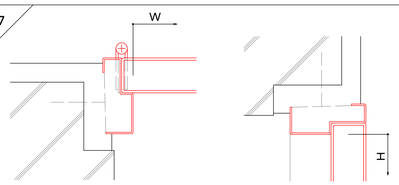
S－5



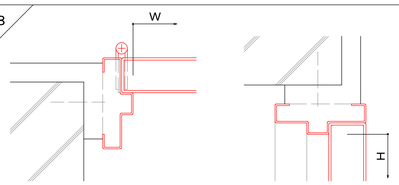
S－6



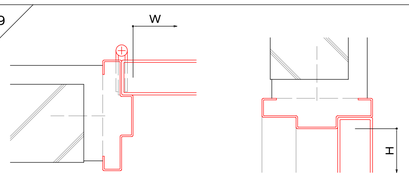
S－7



S－8

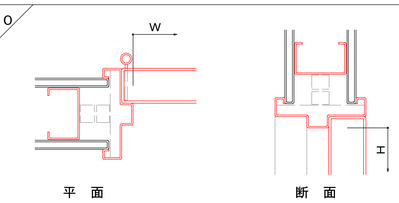


S－9

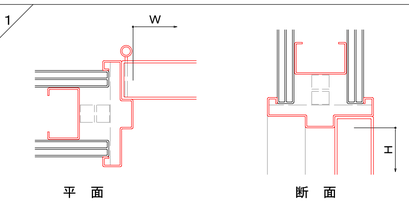


D－04－1

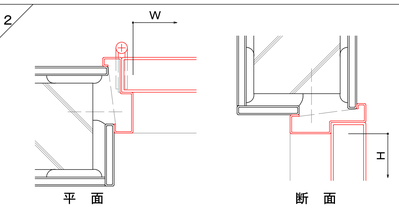
S－10



S－11

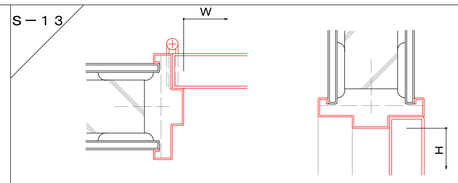


S－12



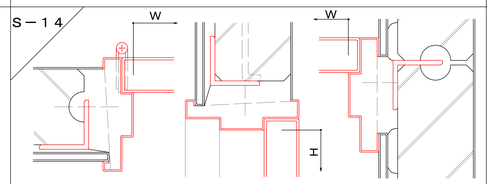
4－22－3

S－13



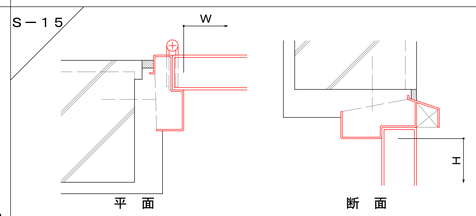
4－22－4

S－14

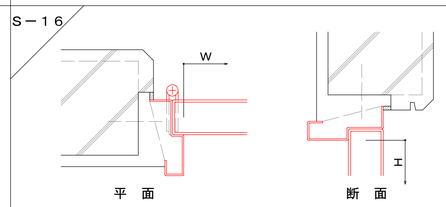


4－25－1

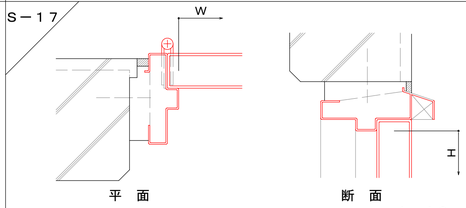
S－15



S－16

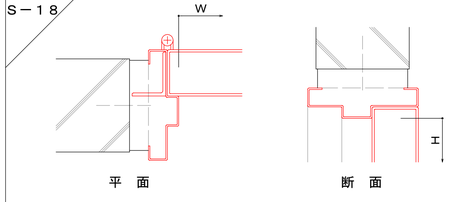


S－17

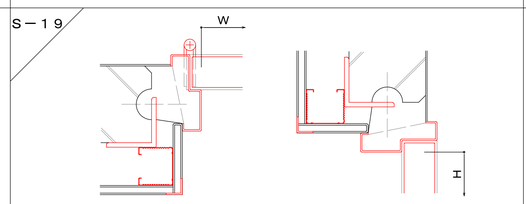


4－42－2

S－18



S－19



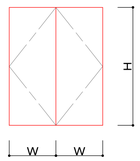
4－25－1

大型、気密ドアの仕様　D－01－1、D－02－1

	大型鋼製建具（外部用）	大型鋼製建具（内部用）	気　密　鋼　製　建　具		
姿　図	締りハンドル （ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠）	内蔵型上げ落し 非常 （ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠）	締りハンドル （ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠）	締りハンドル （ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠）	
	H＞2400 W＞ 950	H＞2400 W＞ 950	H≧2100 W≧ 950	H≧2100 W≧ 950	
一般丁番（150）	形状別扉見込寸法、丁番表による。				
大型丁番					

※　扉面積２．５㎡以上の場合は大型戸当り、あおり止めを設ける。　［D－01－1］

ドア見込み及び丁番表



1）［　］内数値は扉の見込寸法を示す。
2）※は「公共建築工事標準仕様書」による。

→大型

H ＼ W	９５０未満		１，２５０未満		１，５００未満		１，７５０未満	
	大　型	気　密	大　型	気　密	大　型	気　密	大　型	気　密
２，０００未満	※	［４０］ 一般（150） ３枚	［４０］ 一般（150） ３枚	［４０］ 一般（150） ３枚	［５０］ 大型 ３枚	［５０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚
２，４００未満	※	［５０］ 一般（150） ３枚	［４０］ 一般（150） ３枚	［５０］ 大型 ３枚	［５０］ 大型 ３枚	［５０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚
３，０００未満	［５０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［６０］ 大型 ３枚	［８０］ 大型 ３枚
３，５００未満			［６０］ 大型 ３枚	［８０］ 大型 ４枚	［６０］ 大型 ３枚	［８０］ 大型 ４枚	［６０］ 大型 ３枚	［８０］ 大型 ４枚

↓大型

［D－02－1］

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

共通事項

1.特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
　但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
2.パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
　（内部サムターン付）
3.便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
4.ＡＨ、ＦＨを除きＤＣの有無にかかわらず出入り口には戸当り、あおり止め（防火戸を除）をつける。
　壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
5.特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。（SUS製1.5φ　網目15×15）
6.アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
7.大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付とする。
8.特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠廻り詳細による）
9.特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
10.防火戸の位置は建具配置図による。
11.特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
12.特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付きとする。
13.特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。
14.詳細番号（D-OO-1）は下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備（機械）編
　平成25年度日本下水道事業団　編著の詳細番号を示す。
15.１枚の戸の H>2400 又は W>950 の場合の鋼板類の厚さは公共建築工事標準仕様書
　（「建築工事編」平成28年版）の表16.4.2、表16.5.1、表16.6.1の厚さ以上とする。
16.階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

建具略号

種　別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	ＡＤ	ＡＷ	ＡＧ	ＡＯＤ			ＡＳ	Ａｗ
鋼　製	ＳＤ	ＳＷ	ＳＧ	ＳＯＤ			ＳＳ	
鋼製軽量	ＬＤ						ＬＳ	
ステンレス製	ＳＳＤ	ＳＳＷ	ＳＳＧ				ＳＳＳ	
木　製	ＷＤ	ＷＷ	ＷＧ		Ｐ	Ｈ		

ガラス略号

Ｆ	型板ガラス
Ｐ	フロート板ガラス
Ｎ	網入型板ガラス
ＮＰ	網入みがき板ガラス

金物略号

ＤＣ	ドアクローザー
ＡＨ	オートヒンジ
ＦＨ	フロアヒンジ
ＰＨ	ピボットヒンジ

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	建具枠廻り詳細図（３）		
縮尺		図面番号	D-44

課長　係長　審査　調査　設計　測量

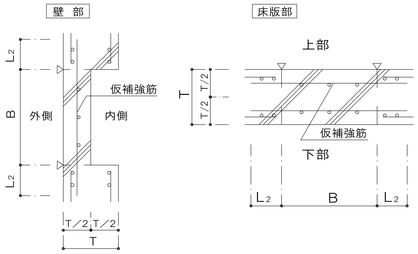
魚沼市産業経済部建設課

貫通孔、埋込管及び機器基礎仕様書

節	項目	特記事項
1. 一般事項	1. 適用基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)最新版」(以下、「標準仕様書」という) 日本下水道事業団制定「下水道施設標準図(詳細)土木・建築・建築設備(機械) 編 最新版」 日本下水道事業団制定「機械設備工事一般仕様書(最新版)」
	2. 施工図等	配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。
	3. 発生材の処理	工事特記仕様書による。
	4. 符号	各設備に用いる符号は下記とする。 (例) AM・S－1 通し番号 貫通孔の形状の符号 S・・・・貫通孔 P・・・・埋込管 B・・・・基礎 各設備の符号 AM・・・建築機械設備 AE・・・建築電気設備 PM・・・プラント機械設備 PE・・・プラント電気設備
	5. 開口補強	a)開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。 1)壁開口補強は、4. 2による。 ・A形 ※B形 但し、耐震壁は図示による。 2)床版開口部補強は、5. 3による。 3)梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7. 1により、配筋種別は特記による。
	6. 工法	a)貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける b)埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。
	7. 特記事項	a) ⊙印のついたものを適用する。⊙印のない場合は※印のあるものを適用する。又、⊙印と ※ 印のある場合は共に適用する。
2. 貫通孔	1. 材料、材質	a)貫通孔に用いる材料は下記による。

記号	S1	S2	S3	S4
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つば付鋼板

節	項目	特記事項
	2. 次期工事の貫通孔処理	a)次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。



B	壁部	床版部
1500未満	D13－200@シングル	構造体配筋に同じ

コンクリート強度 : 構造体強度に同じ
▽ : シーリング(10×10)
b) 土圧・水圧等を受ける場合は、B－04－1を標準とし、その仕様は特記による。

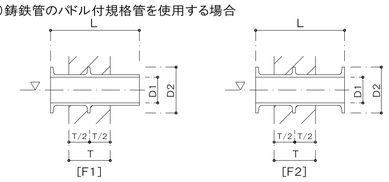
節	項目	特記事項
3. 埋込管	1. 材料、材質	a)埋込管に用いる材料は、下記のものとする。 埋込管の材料

記号	P1	P2	P3	P4	P5
材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	亜鉛鉄管

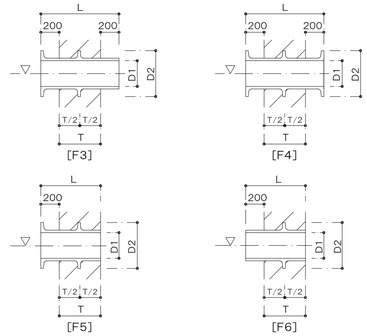
b)埋込管の材質については、下記による。
1)ステンレス管 ・・・ JIS G 3459 0. 98MPa
(SUS304) 鋼管差し込み溶接フランジ規格
※ C－1 sch 20S
・ C－2 sch 40
2)鋼 管 ・・・・・・・ JIS G ※ 3452(SGP) ※3442(SGPW)
3)鋳鉄管 ・・・・・・・ ※ JSWAS G－1 ・JDPAG 1025 1026
4)塩ビ管 ・・・・・・・ JIS K 6741 ※ VP ・VU
5)亜鉛鉄管 ・・・・・ JIS G 3302 ※ 4mm以上 ・6mm以上

c)埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに準拠する。

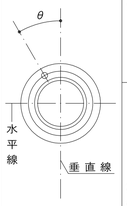
節	項目	特記事項
3. 埋込管	2. 埋込管の形式	a)鋳鉄管のパドル付規格管を使用する場合



b)規格外のパドル付短管を使用する場合



節	項目	特記事項
	3. フランジ穴の取付け位置	a)フランジ穴取付け位置は、下表による。 (鋳鉄管:JIS 7. 5K、ステンレス管・鋼管:JIS 10Kの場合)



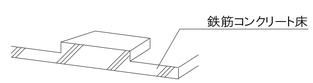
	口径	θ	ボルトの呼び径		ボルト数
鋳鉄管	φ75～100	45°	φ75～200	M16	4
	φ150	30°			6
	φ200～250	22. 5°	φ250～300	M20	8
	φ300～350	18°	φ350～400	M22	10
	φ400～500	15°	φ450～600	M24	12
	φ600～700	11. 25°	φ700～1100	M30	16
	φ800～900	9°			20
	φ1000～1100	7. 5°			24
ステンレス管・鋼管	10～65A	45°	10～20A	M12	4
	80～150A	22. 5°	25～100A	M16	8
	200～250A	15°	125～200A	M20	12
	300～400A	11. 25°	250～350A	M22	16
	450～550A	9°	400～500A	M24	20
	600～750A	7. 5°	550～900A	M30	24
	800～1000A	6. 42°	1000～1200A	M36	28
	1200A	5. 625°			32

節	項目	特記事項
4. 機器基礎	1. 分類	a)基礎の分類は下記による

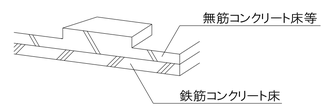
基礎の分類

記号	形状
B1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎
B2	無筋コンクリート部分等の基礎
B3	防水層部分の立ち上り基礎
B4	土木・建築で差し筋のみを施す場合

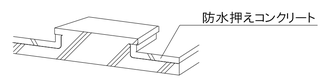
[B1]



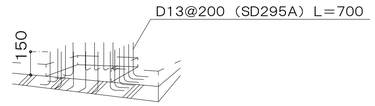
[B2]



[B3]



節	項目	特記事項
4. 機器基礎		[B4]



節	項目	特記事項
5. その他	1. リスト記入方法	a)符号は 1. 一般事項 4. 符号による。 b)形状寸法 1)貫通孔については、形状寸法を記入する。 (例)400φ 300L×500W 2)埋込管については、形状寸法を記入する。 (例)400φ × 800L 3)基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。 (例)500W×400L×100H c)材料－形式は－印の前に材料を、後に形式を記入する。 (例) S1－ P1－F1 －B1 d)床・壁の区分 1)壁部分は壁に○印を、床部分の場合は床に○印を記入する。 e)位置の表示は、下記による。 1)壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面(※ TP ・YP ・AP)より高さ表示とする。 (例) ② → ① 800 ○ → ○ +8500 2)床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例) Ⓐ→Ⓑ2400 ③ → ② 800 3)位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。 f)用途には配管系統(汚水管、脱臭ダクト等)等を記入する。 g)備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。 h)その他 1)埋込管にフランジ蓋を設ける場合は、備考欄に特記する。 2)埋込管にフランジ規格の呼び圧力は次の場合を示す。 鋳鉄管 : JIS 7. 5K ステンレス管・鋼管 : JIS 10K 上記以外は特記する。 3)貫通孔に仮壁を設ける場合は備考欄に特記する。 4) 将来使用する開口については、仮壁、仮蓋等を施すものとし、備考欄に特記する。

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い－3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
舘林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	貫通孔、埋込管及び機器基礎仕様書		
縮尺		図面番号	D-45

課長 係長 審査 調査 設計 測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔、埋込管及び機器基礎リスト

符号	形状寸法	壁	床	用途	材料ー形式	位置		備考
【埋込管リスト】								
ＰＭ・Ｐ－０１	SUS 80A × 1000Ｌ	⊙	・	排水ポンプ管	P1 ー	Ⓐ → Ⓑ １４００	◯ → ◯ ▽＋89.200	２通り（両ﾌﾗﾝｼﾞ10K）
ＰＭ・Ｐ－０２	SUS 80A × 1150Ｌ	⊙	・	排水ポンプ管	P1 ー	② → ③ ２９５０	◯ → ◯ ▽＋90.200	Ｂ通り（両ﾌﾗﾝｼﾞ10K）
ＰＭ・Ｐ－０３	SUS 50A × 1000Ｌ	⊙	・	膨張タンクドレン	P1 ー	Ⓒ → Ⓑ １０００	◯ → ◯ ▽＋89.100	２通り（両ﾌﾗﾝｼﾞ10K）
ＰＭ・Ｐ－０４	SUS 80A × 900Ｌ	⊙	・	排水ポンプ	P1 ー	Ⓐ → Ⓑ １４００	◯ → ◯ ▽＋89.200	１通り（両ﾌﾗﾝｼﾞ10K）
ＰＭ・Ｐ－０５	SUS 50A × 700Ｌ	⊙	・	床排水ポンプ	P1 ー	Ⓑ → Ⓒ １８００	◯ → ◯ ▽＋89.900	１通り（両ﾌﾗﾝｼﾞ10K）
【貫通管穴明リスト】								
ＰＭ・Ｓ－０１	φ150 ×	・	⊙	№1流入ゲート	ー	④ → ⑤ ７７５	Ⓒ → Ⓑ １９７５	砂溜
ＰＭ・Ｓ－０２	φ150 ×	・	⊙	№2流入ゲート	ー	④ → ⑤ ７７５	Ⓑ → Ⓒ ３３２５	砂溜
ＰＭ・Ｓ－０３	φ150 ×	・	⊙	切替ゲート	ー	◯ → ◯ 図 示	◯ → ◯ 図示（切替ゲート室一般図）	切替ゲート室
ＰＭ・Ｓ－０４	φ200 ×	・	⊙	膨張タンクドレン	S1 ー	③ → ② ３７５０	Ⓒ → Ⓑ ４５０	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－０５	300W × 200Ｈ	⊙	・	65Ａ×2 冷却水管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ６２０	◯ → ◯ ▽＋90.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－０６	300W × 200Ｈ	⊙	・	65Ａ×2 冷却水管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ３４２０	◯ → ◯ ▽＋90.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－０７	φ150 ×	⊙	・	25Ａ 冷却水管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ２７５５	◯ → ◯ ▽＋90.850	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－０８	φ150 ×	⊙	・	25Ａ 冷却水管	S1 ー	Ⓑ → Ⓒ ２６９５	◯ → ◯ ▽＋90.850	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－０９	φ150 ×	⊙	・	25Ａ 送油管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ５３５	◯ → ◯ ▽＋91.300	除塵機室
ＰＭ・Ｓ－１０	φ150 ×	⊙	・	25Ａ 送油管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ５３５	◯ → ◯ ▽＋91.300	除塵機室
ＰＭ・Ｓ－１１	φ150 ×	⊙	・	40Ａ 返油管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ５３５	◯ → ◯ ▽＋91.100	除塵機室
ＰＭ・Ｓ－１２	φ150 ×	⊙	・	40Ａ 返油管	S1 ー	Ⓒ → Ⓑ ５３５	◯ → ◯ ▽＋91.100	除塵機室
ＰＭ・Ｓ－１３	φ150 ×	⊙	・	32Ａ 通気管	S1 ー	③ → ② １０７０	◯ → ◯ ▽＋93.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１４	φ1200 ×	⊙	・	外径φ940 排水管	ー	① → ② １９００	◯ → ◯ ▽＋89.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１５	φ1200 ×	⊙	・	外径φ940 排水管	ー	① → ② ４１００	◯ → ◯ ▽＋89.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１６	φ800 ×	⊙	・	外径φ530 排水管	ー	① → ② ５９００	◯ → ◯ ▽＋89.800	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１７	1000W × 1000Ｈ	⊙	・	給気消音ＢＯＸ		Ⓑ → Ⓐ １４６５	◯ → ◯ ▽＋94.430	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１８	1000W × 1000Ｈ	⊙	・	給気消音ＢＯＸ		Ⓑ → Ⓒ ５５００	◯ → ◯ ▽＋94.430	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－１９	1000W × 1000Ｈ	⊙	・	排気消音ＢＯＸ		Ⓑ → Ⓒ ３１５０	◯ → ◯ ▽＋99.055	ポンプ室
ＰＭ・Ｓ－２０	1000W × 1000Ｈ	⊙	・	排気消音ＢＯＸ		Ⓑ → Ⓒ ６８５０	◯ → ◯ ▽＋99.055	ポンプ室
ＰＥ・Ｓ－０１	300W × 100Ｈ	・	⊙	電気室～除塵機室		③ → ④ １２５０	Ⓒ → Ⓑ １９５	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０２	300W × 200Ｈ	⊙	・	電気室～ポンプ室		Ⓒ → Ⓑ ７９５	◯ → ◯ ▽＋96.200	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０３	300W × 400H	⊙	・	150Ａ 排気管		Ⓒ → Ⓑ ３２００	◯ → ◯ ▽＋99.300	自家発排気
ＰＥ・Ｓ－０４	1200W × 1200Ｈ	⊙	・	1200□ ダクト		Ⓒ → Ⓑ ３２００	◯ → ◯ ▽＋97.850	自家発排風
ＰＥ・Ｓ－０５	300W × 100Ｈ	⊙	・	除塵機室～ＨＨ1		③ → ④ １２５０	◯ → ◯ ▽＋90.250	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０６	φ50 ×	⊙	・	除塵機室～屋外		Ⓒ → Ⓑ ６５０	◯ → ◯ ▽＋91.700	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０７	φ50 ×	⊙	・	除塵機室～屋外		Ⓒ → Ⓑ ６５０	◯ → ◯ ▽＋91.800	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０８	φ50 ×	⊙	・	ポンプ室～屋外		② → ① １７５０	◯ → ◯ ▽＋91.500	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－０９	φ75 ×	⊙	・	ポンプ室～屋外		② → ① １７５０	◯ → ◯ ▽＋91.350	ケーブル
ＰＥ・Ｓ－１０	1200 × 1200	⊙	・	給気消音ＢＯＸ		Ⓒ → Ⓑ ２６５０	◯ → ◯ ▽＋94.430	自家発給気
ＰＥ・Ｓ－１１	φ300 ×	・	⊙	水位計	ー	◯ → ◯ 図 示	◯ → ◯ 図示（切替ゲート室一般図）	切替ゲート室
ＡＭ・Ｓ－０１	φ100 ×	⊙	・	屋外～除塵機室		④ → ③ ２４００	◯ → ◯ ▽＋90.400	給水管

符号	形状寸法	壁	床	用途	材料ー形式	位置		備考
ＰＭ・Ｂ－０１	φ2450 × φ1550（開口）	・	⊙	№1雨水ポンプ	B1 ー	① → ② ４１００	Ⓒ → Ⓑ １６７５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－０２	φ2450 × φ1550（開口）	・	⊙	№2雨水ポンプ	B1 ー	① → ② ４１００	Ⓒ → Ⓑ ４４７５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－０３	1700W × 2800Ｌ	・	⊙	№1原動機	B4 ー	② → ③ ４００	Ⓒ → Ⓑ １６７５	１階原動機室
ＰＭ・Ｂ－０４	1700W × 2800Ｌ	・	⊙	№2原動機	B4 ー	② → ③ ４００	Ⓒ → Ⓑ ４４７５	１階原動機室
ＰＭ・Ｂ－０５	900W × 3400Ｌ	・	⊙	空気槽、圧縮機	B4 ー	② → ③ ２３００	Ⓒ → Ⓑ ２９５	１階原動機室
ＰＭ・Ｂ－０６	400W × 900Ｌ × 2ヶ所	・	⊙	№1管内クーラー	B4 ー	① → ② １９００	Ⓒ → Ⓑ ３８７５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－０７	300W × 500Ｌ × 2ヶ所	・	⊙	№1蝶形弁	B4 ー	① → ② １９００	Ⓒ → Ⓑ ５５７５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－０８	400W × 900Ｌ	・	⊙	№1逆止弁	B4 ー	① → ② １９００	Ⓑ → Ⓒ １８０５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－０９	400W × 900Ｌ × 2ヶ所	・	⊙	№2管内クーラー	B4 ー	① → ② ４１００	Ⓑ → Ⓒ １８２５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－１０	300W × 500Ｌ × 2ヶ所	・	⊙	№2蝶形弁	B4 ー	① → ② ４１００	Ⓑ → Ⓒ １２５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－１１	400W × 900Ｌ	・	⊙	№2逆止弁	B4 ー	① → ② ４１００	Ⓑ → Ⓐ ７１５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－１２	250W × 600Ｌ	・	⊙	小ポンプ逆止弁	B4 ー	② → ① １０００	Ⓑ → Ⓐ ６２５	１階ポンプ室
ＰＭ・Ｂ－１３	450W × 450Ｌ	・	⊙	№1流入ゲート	B4 ー	④ → ⑤ ７７５	Ⓒ → Ⓑ １９７５	砂溜
ＰＭ・Ｂ－１４	450W × 450Ｌ	・	⊙	№2流入ゲート	B4 ー	④ → ⑤ ７７５	Ⓑ → Ⓒ ３３２５	砂溜

※埋込配管（ＰＭ・Ｐ）は、SUS304sch20Sとする。

※ ［　］ 部は建築工事、 ［　］ 部は土木及び別途工事による。

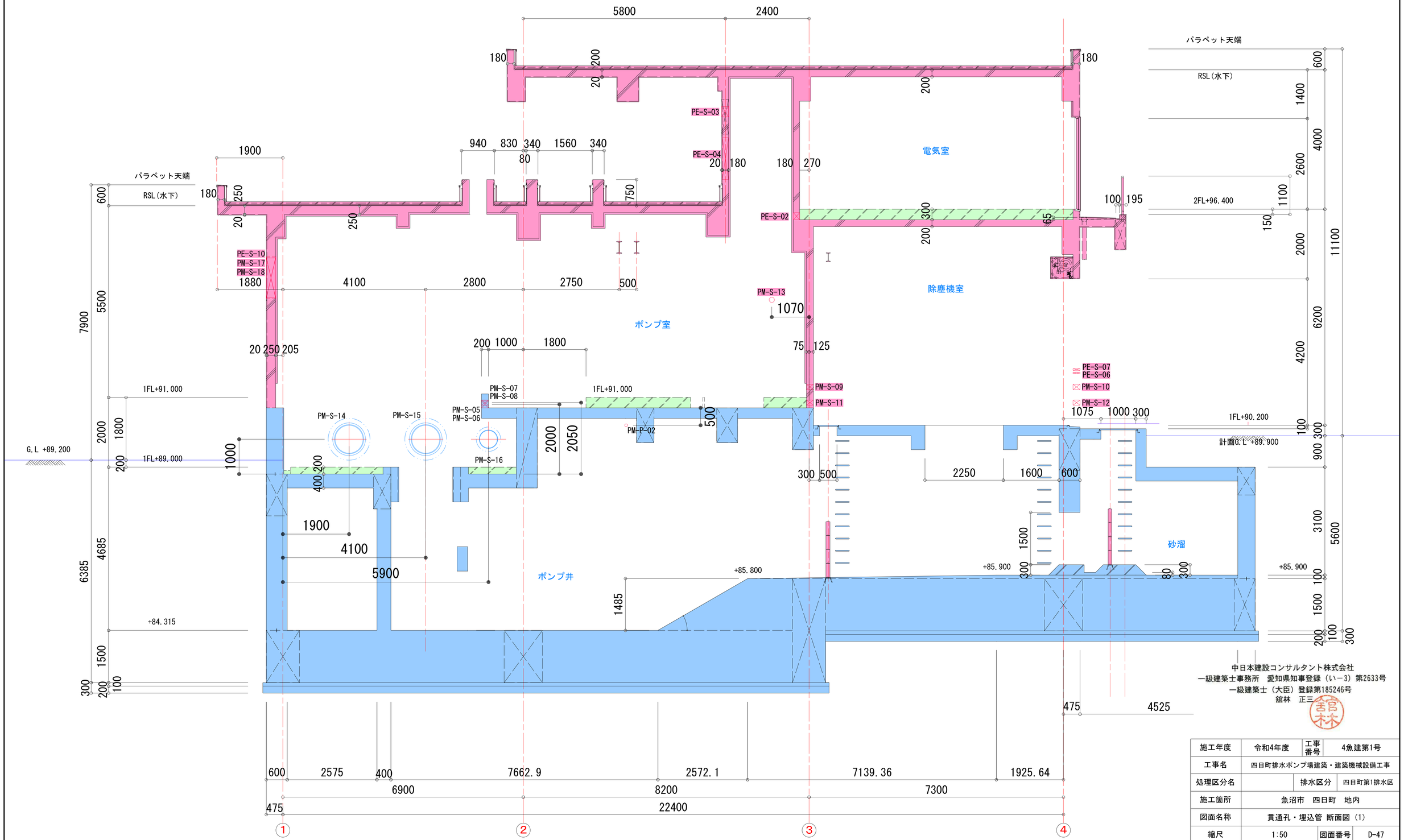
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔、埋込管及び機器基礎リスト		
縮尺		図面番号	D-46

課長　係長　審査　課査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔・埋込管 断面図（１）S=1:50



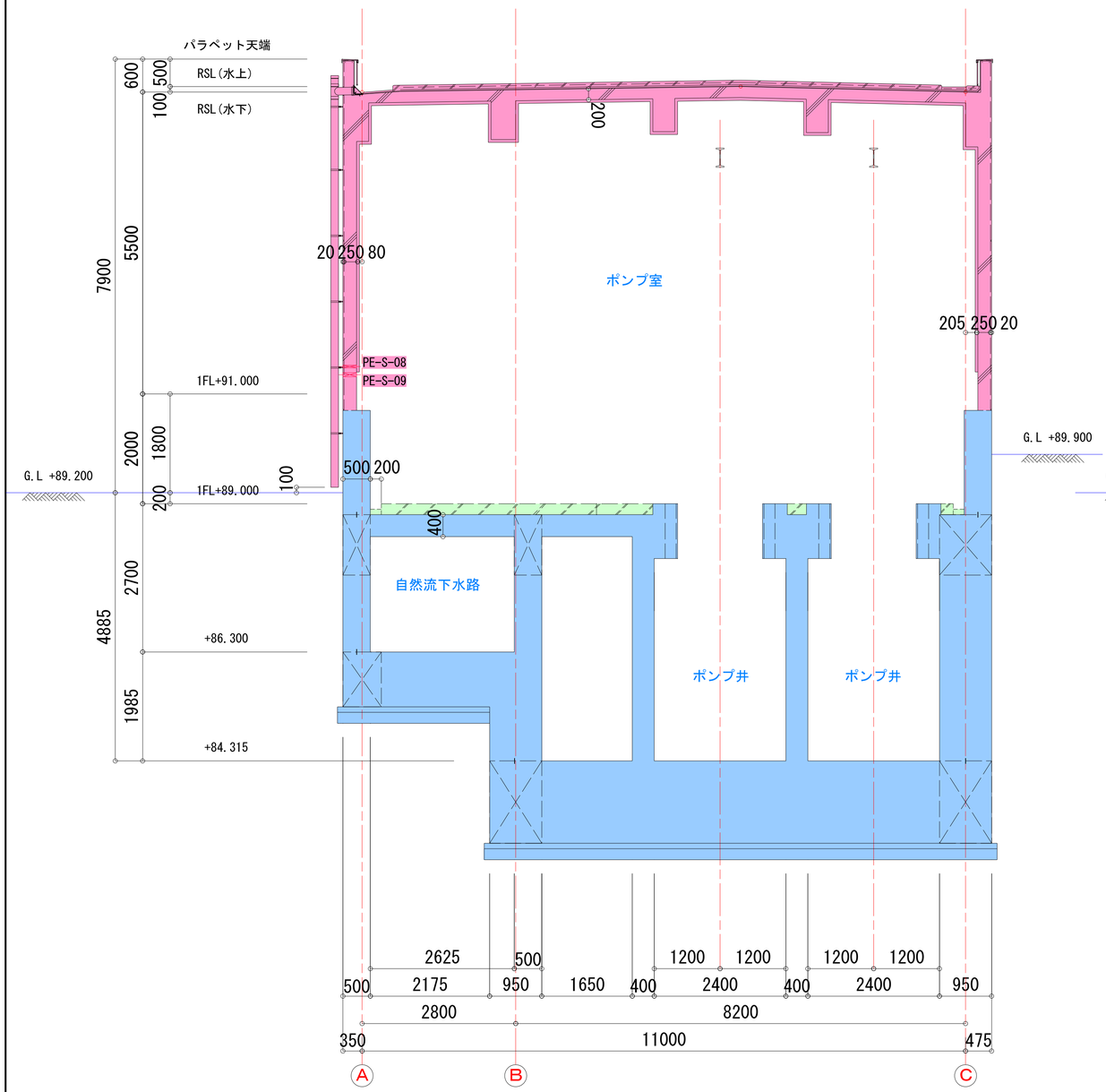
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

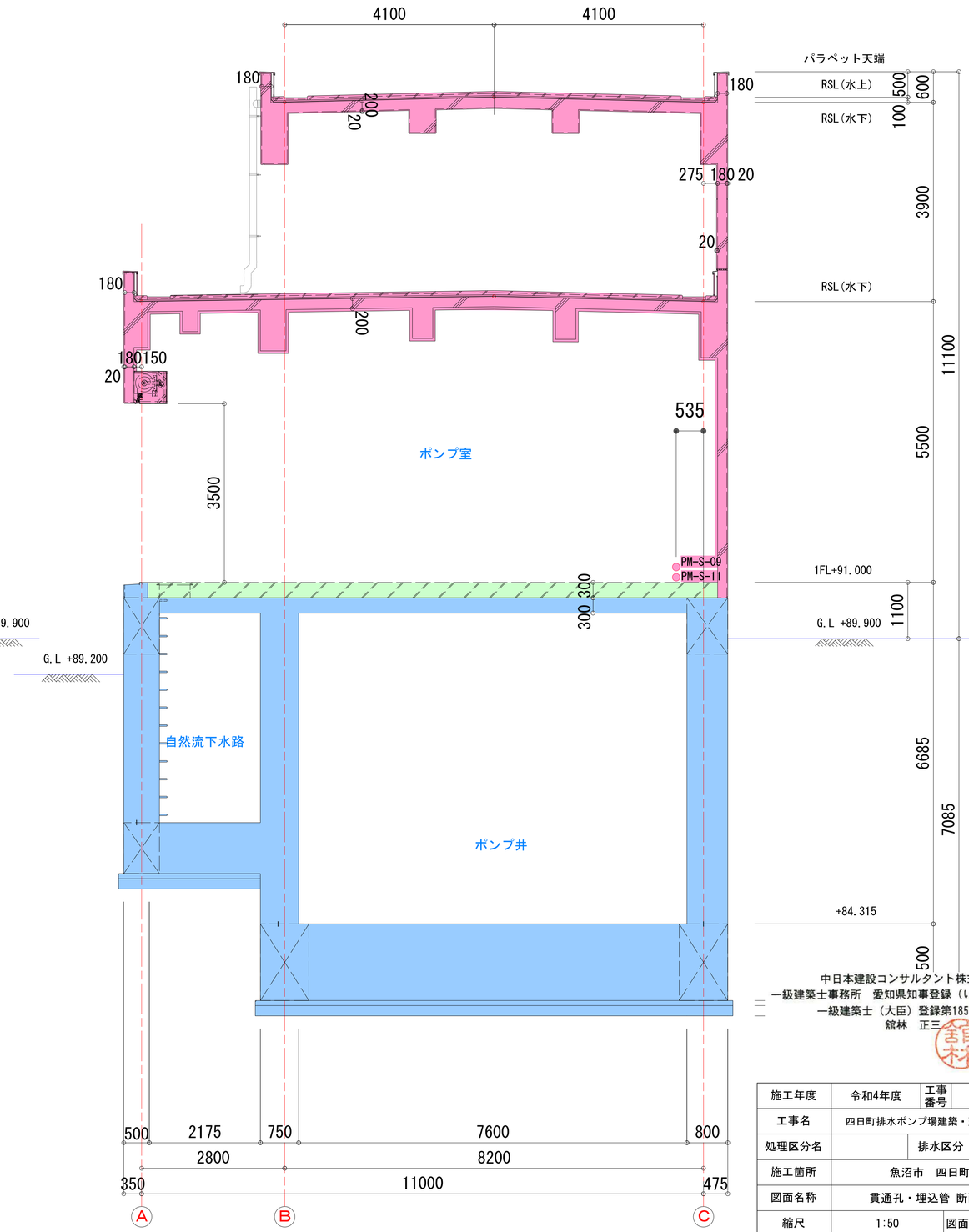
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔・埋込管 断面図（1）		
縮尺	1:50	図面番号	D-47

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔・埋込管 断面図（２）S=1:50





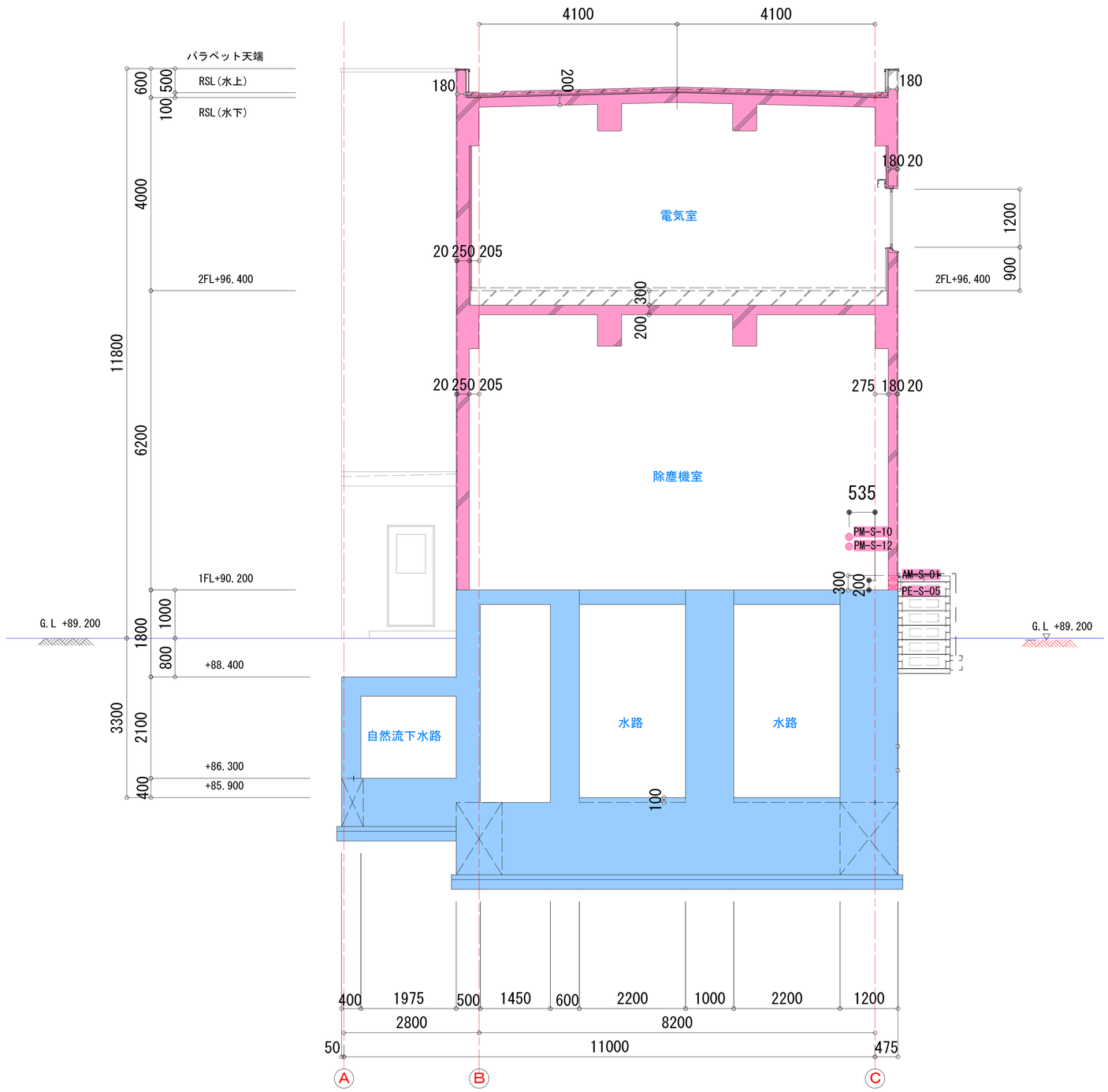
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔・埋込管 断面図（2）		
縮尺	1:50	図面番号	D-48

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔・埋込管 断面図（３） S=1:50



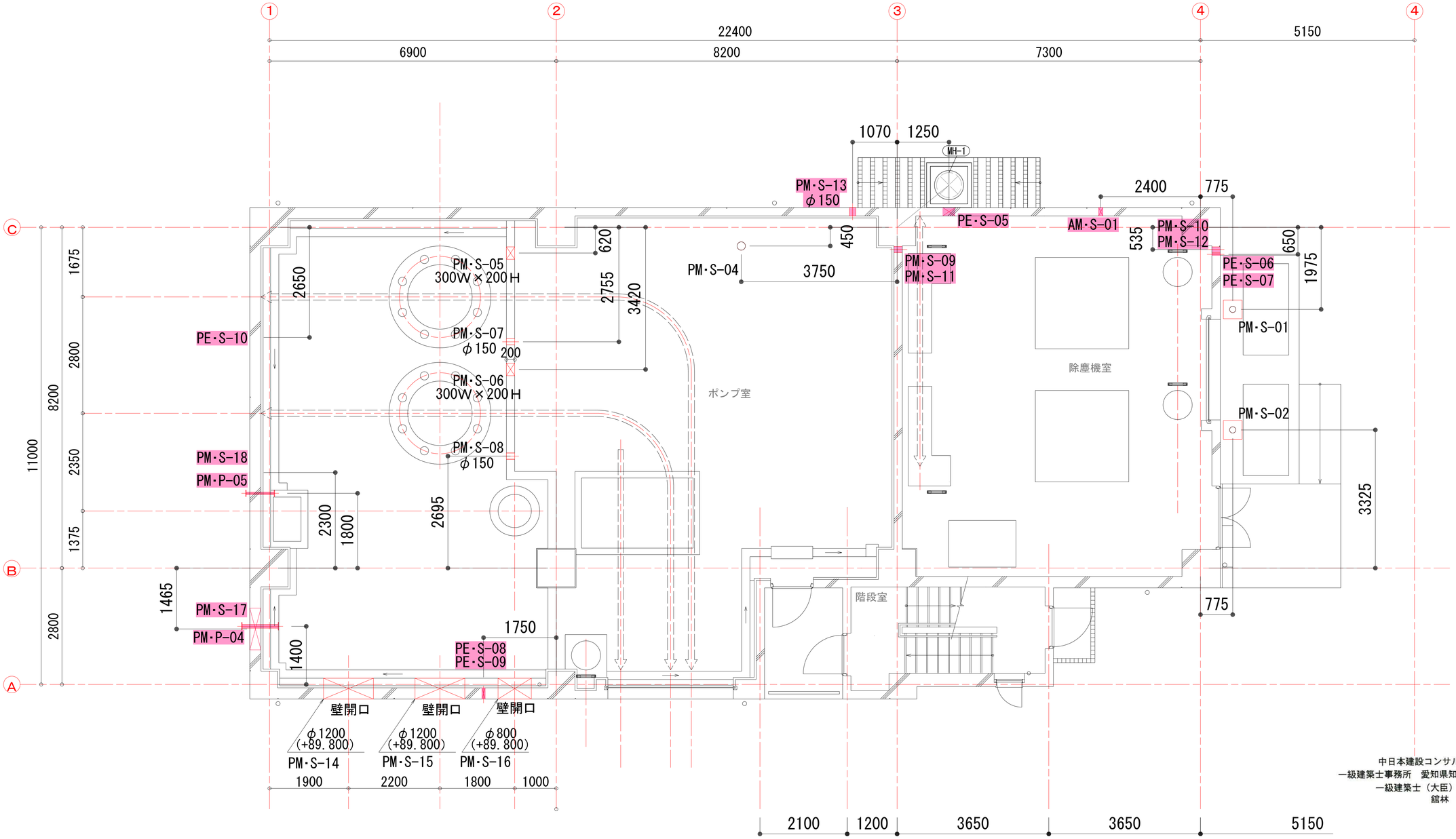
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔・埋込管 断面図（3）		
縮尺	1/50	図面番号	D-49

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔・埋込管 1階平面図 S=1:50



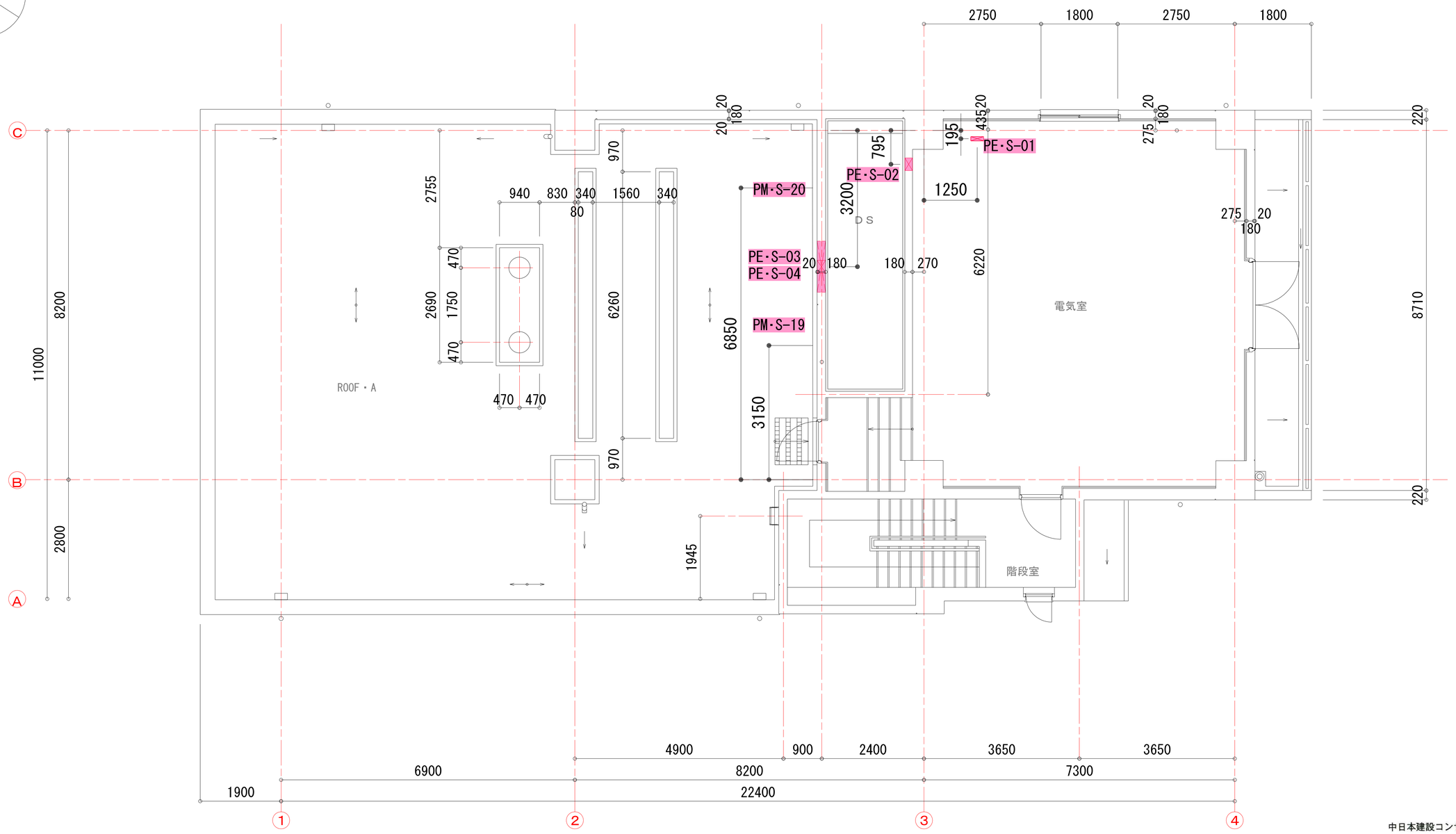
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔・埋込管 1階平面図		
縮尺	1:50	図面番号	D-50

課長　係長　審査　調査　設計　測量

魚沼市産業経済部建設課

貫通孔・埋込管 2階平面図 S=1:50



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
舘林　正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市　四日町　地内		
図面名称	貫通孔・埋込管 2階平面図		
縮尺	1:50	図面番号	D-51

課長		係長		審査		調査		設計		測量	

魚沼市産業経済部建設課